

海外留学の 手引き

2019

Study Abroad Handbook



愛知淑徳大学

海外留学の 手引き

Study Abroad Handbook



Contents

1. 留学について知ろう



I. 留学のすすめ～国際交流センター長よりメッセージ	3
II. 愛知淑徳大学の海外留学プログラム	4
1 学内の留学プログラム	4
1-1 交換留学	5
1-2 複数学位取得プログラム	8
1-3 単位修得留学	10
1-4 短期研修	12
1-5 長期海外履修制度	14
1-6 海外フィールドスタディ	17
海外研修	
Study Abroad	
海外インターンシップ	
2 私費留学	21
III. 出願から留学までのスケジュール	22
IV. 交換留学協定校の出願要件	24
V. 留学体験記	30

2. 留学に向けて準備をしよう



VI. 留学準備	44
・留学計画セルフチェック	44
・情報収集	45
・学業成績	45
・語学習得に役立つ授業	45
・留学資金	46
・語学学習	46
・語学試験	46
・奨学金について	47
VII. その他	48
・留学 Q&A	48
・国際交流センターの紹介	51
・海外での安全と危機管理	52
・愛知淑徳大学留学生派遣規程	54



1. 留学について知ろう

I. 留学のすすめ～国際交流センター長よりメッセージ

「本物は、写真より、すごかった」

このセリフを別々の人物から続けて聞いたことがありました。一人は、修学旅行で奈良の法隆寺を見た当時6年生の息子から。もう一人は、国際交流センター開設科目「Central Japan」に講師として長年お越しいただいている、世界をまたにかけ活躍してこられたビジネス・パーソンの長久厚先生から。こちらは、中国の万里の長城をご覧になった感想でした。年齢も、経験も、見た建物も異なる二人から、全く同じセリフを聞いた時に、「本物（実物）」だけが持つ力強さがあることを痛感しました。

近年、情報通信技術の発展から、世界中の映像や情報が、日本にいながら入手できる時代を私たちは生きています。すでに、一人の人間が一生かかっても処理できない分量の情報が、日々、生み出されているとされています。出版物からインターネットまで、写真や動画などを通じて、現地に行かなくても情報が得られます。しかし、現地で実物を自分の目で見るということは、紙面や画面の大きさに限られない視覚情報と共に、現地の景色や温度、香りや空気などすべてを五感を通して体感するということです。留学とは、そんな力強い体験を継続して経験できる機会なのです。

旅と留学は異なります。留学は、一定期間海外に滞在をして学修することを指します。専門科目や語学を渡航先大学で学びます。ただし「学修」は机上で学ぶ内容に加え、多種多様な方面からの学修を含みます。現地の先生の授業の進め方や学生との接し方、現地学生の受講姿勢や発言力、人々の挨拶の仕方から、関係維持のためのコミュニケーション、地域の気候に根差した食文化、街並みの成り立ちと歴史の関係など、様々な観点から学ぶことができます。自分の「あたりまえ」がゆさぶられ、別の考え方もありだと、視点と価値観が広がります。実物・本物だけが持つパワーを、海外での日々の経験を通じて学修できるのが、留学なのです。

国際交流センターでは、みなさんの留学をサポートしています。留学の種類、協定校、学内の語学試験や交換留学試験などの情報を、説明会を通じて提供しています。また、個別に留学相談も行っています。まずは、この冊子に目を通してください。みなさんの所属学部や他学部、国際交流センターが提供するプログラムを通して本学には海外での学修機会が多くあることを知ってください。そして、説明会や留学相談に参加してください。本物に出会うための準備はそこから始まります。

愛知淑徳大学 国際交流センター長

福本明子



Ⅱ. 愛知淑徳大学の海外留学プログラム

1 学内の留学プログラム

本学が提供する留学プログラムは大きく分けて6つあります。プログラムによって出願時期、出願条件などが異なりますので十分に調べて留学の準備を始めましょう。

※原則として、留学プログラム申込後の辞退は認められません。事前によく検討し、申し込んでください。

学内留学プログラム

プログラム名	窓口	留学先	経 費	特 徴
1-1 (P.5) 交 換 留 学	国際 交流 セン ター	交流協定校	愛知淑徳大学学納金 + 現地生活費	<ul style="list-style-type: none"> ・学部留学 ・原則として4年間で卒業可能 ・留学先の授業料免除 ・学内選考あり
1-2 (P.8) 複 数 学 位 取 得 プ ロ グ ラ ム		天津外国語大学 (中国)		<ul style="list-style-type: none"> ・原則として4年間で2つの学位(本学・天津外国語大学)を取得可能 ・学内選考あり
1-3 (P.10) 単 位 修 得 留 学		各自自由選択	愛知淑徳大学学納金 + 留学先大学学費 + 現地生活費	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として4年間で卒業可能 ・留学先の大学を自由選択可能 ・留学手続き等については個人で行う
1-4 (P.12) 短 期 研 修		海外研修指定校	研修費	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目として単位が得られる ・大学の研修なので、内容充実、安心
1-5 (P.14) 長 期 海 外 履 修 制 度	各学部	長期海外履修指定校	愛知淑徳大学学納金 + 現地生活費	<ul style="list-style-type: none"> ・語学留学 ・原則として4年間で卒業可能 ・留学先の授業料補助 ・交換留学より応募条件が低い
1-6 (P.17) 海外フィールドスタディ 海 外 研 修 Study Abroad 海外インターンシップ	キャリア セン ター 各学部	海外研修指定校 海外研修指定先	研修費	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目として単位が得られる ・大学の研修なので、内容充実、安心



1-1 交換留学 [窓口：国際交流センター]

本学では海外の 55 大学と交換留学協定を締結しています（2018 年 10 月現在）。本学の交換留学制度は、留学先大学の学年暦に合わせて夏季派遣（8、9 月に出発）と冬季派遣（2、3 月に出発）の 2 つに分かれています。学内の選考試験を経て、合格した学生が各協定校へ派遣されます。留学先で履修し、修得した単位は本学の単位として認定されるため、原則として留学による留年はありません（単位認定に関しては、事前に所属学部教員に問い合わせてください）。
※日本学生支援機構奨学金の貸与者は留学中の奨学金が「休止」となる場合がありますので、必ず P.47 を参照してください。

◆交換留学にあたって

交換留学に出願するには、まず募集説明会に出席して当該年度の各協定校の出願内容や派遣人数枠を確認してください。募集説明会のスケジュールについては P.22 ~ P.23 を参照してください。**説明会に出席した学生にのみ各協定校の募集要項と願書を渡します。**授業などやむを得ない理由で出席できない場合は別途説明しますが、募集説明会実施日より前に国際交流センターに申し出る必要があります。交換留学は 1 年生でも出願可能です。

また、出願には、募集要項に書かれている出願資格をクリアしなければなりません。出願資格は、**GPA (通算) 2.3 ~ 3.0 以上 (各留学先大学によって異なる)** で、必要な語学レベルは下記のとおりです。

- 英語圏**は TOEFL[®]、IELTS[™]、TOEIC[®] Listening & Reading および TOEIC[®] Speaking & Writing のスコアのいずれかが必要になります。留学先によって要求されるスコアや試験の種類が異なりますので、P.24 以降の各大学の出願条件でスコアを確認してください。希望する留学先の出願スコアを取得できるように早い段階から準備をしましょう。

TOEFL[®] スコア、IELTS[™] スコア、TOEIC[®] Listening & Reading スコア、および TOEIC[®] Speaking & Writing スコアの有効期限は受験後 2 年間です。

- 中国語圏**は HSK 3 級以上、もしくは語学科目（中国語）の GPA 2.3 以上が出願条件となります。
- 韓国・朝鮮語圏**は韓国語能力試験 3 級以上、もしくは語学科目（韓国語）の GPA 2.3 以上が出願条件となります。
 ※語学科目の GPA に関して学部によって対象科目が異なる場合がありますので、必ず募集説明会に参加し、語学科目一覧を確認してください。

◆単位認定

留学先大学で修得した単位認定については、「留学生派遣規程」(P.54 ~ P.55) によります。なお、教職・学芸員・司書課程科目については、留学先での科目との読み替えができません。よって、これらの資格取得を目指している学生は、出願前に教務事務室 / 教学事務室の担当者に必ず相談をしてください。4 年生での留学を検討している学生については、現地で卒業論文、ゼミ論文に取り組みなくてはならないこともあります。また、卒業に必要な単位を留学先で修得することができない場合や本学の卒業判定までに留学が終了しない場合は、4 年間での卒業が不可能となりますので気をつけてください。



■注意事項

GPA

交換留学の出願資格の一つは、学内選考出願時点で GPA（通算）が各留学先大学の要求するポイントを満たしていることです。入学以降の通算のポイントですので、出願時に評価が出ているすべての学期の成績が GPA の算出に用いられます。そのため、普段から GPA のポイントを下げないように気をつけてはいけません。例えば、2 年次に出願しようと思っても、1 年次の成績が悪かったために GPA（通算）のポイントが足らず、出願できないということも有りえるので、注意しましょう。

留学による卒業延期

交換留学では、留学先で修得した単位を、帰国後に本学の単位として認定を受けることができます（ただし、所定の単位認定申請手続きをした者に限る）。そのため原則として留学により卒業が延びることはありませんが、留学時期が 4 年次にかかる場合は、単位の読替えについて、前もって所属学部の学科 / 専攻 / コース主任及び教務委員に相談してください。留学先で修得した単位を本学の専門科目として認定しない学科や研究科もあります。この場合、交換留学によって卒業延期となっても自己責任となりますので、必ず事前に確認してください。

交換留学生の義務

交換留学は本学の認定を受けて行くものです。交換留学生は、次の義務を果たさなければなりません。

- 1) 留学期間中も本学の学納金を納入すること。
- 2) 留学先において単位を修得すること。
- 3) 留学修了後 1 か月以内に帰国報告書を提出し、単位認定申請手続きを行うこと。
- 4) 「愛知淑徳大学留学生派遣規程に基づく留学に関する誓約書」を遵守すること。

出願後の期間や希望留学先の変更

出願後、願書に記入した希望留学先や留学期間を変更することは一切できません。また、原則として、出願後の辞退は認められませんので、よく考えてから願書を提出してください。

学内選考試験

学内選考試験は、筆記試験と面接の結果に基づき、評価は筆記試験 50%、面接 50% の割合で行われ、総合的に判断します。出願者のみに、筆記試験の過去問題を配付していますので、希望者は出願後に国際交流センターに申し出てください。

※原則として、出願後の辞退は認められません。



全学部対象 国際交流センター主催

交換留学協定校

2018年10月1日現在

アメリカ	Mississippi University for Women	ポーランド	State Higher Vocational School in Tarnow
	West Virginia University		Wszechnica Polska University in Warsaw
	Southern New Hampshire University	チェコ	Palacký University Olomouc
	The University of Tennessee at Martin		University of Ostrava
	University of North Carolina Wilmington	イタリア	University of Siena
	California State University San Marcos		The University of Córdoba
	Ferris State University	スペイン	University of Málaga
	Arkansas State University		The University of Jaén
The University of Mississippi	デンマーク	ZIBAT (Zealand Institute of Business and Technology)	
Medicine Hat College		Stockholm University	
カナダ	University of the Fraser Valley	スウェーデン	Stockholm University
	Universidad Internacional	フィンランド	Metropolia University of Applied Sciences
メキシコ	Oxford Brookes University	中国	南京師範大学
	Birmingham City University		北京師範大学
	York St John University		天津外国語大学
イギリス	National University of Ireland, Galway		北京語言大学
	IHECS	台湾	文藻外語大学
VIVES University of Applied Sciences	静宜大学		
ベルギー	EDH (EFAP School of Communication)		台南應用科技大學
	フランス	University of Hamburg	韓国
Stuttgart Media University		中央大学校	
Baden-Wuerttemberg Cooperative State University (DHBW)		東亜大学校	
University of Vechta		国立木浦大学校	
Neu-Ulm University of Applied Sciences		大邱カトリック大学校	
ドイツ	University of Graz	香港	The Hang Seng University of Hong Kong
	FH Wien der WKW University of Applied Sciences for Management & Communication		CQ University
	University of Applied Sciences		University of Canberra
オーストリア	University of Dunajváros	オーストラリア	Western Sydney University
	Ventspils University College		
ハンガリー			
ラトビア			

※協定校の中には、学生派遣を行っていない大学もあります。



1-2 複数学位取得プログラム [窓口：国際交流センター]

本学と天津外国語大学の双方に学籍を持ち、原則として2年間を本学で学んだ後、残りの2年間を留学先の天津外国語大学国際交流学院（学部）で学び、合計4年間（最短）で2つの学位を取得する制度です。また、このプログラムは現地の学生と共に通常の学部のカリキュラムを履修し単位を修得するものですので、高い語学力が要求されます。なお、募集人数は3名です。

※日本学生支援機構奨学金の貸与者は留学中の奨学金が「休止」となる場合がありますので、必ずP.47を参照してください。

卒業要件

(1) 愛知淑徳大学を卒業するための卒業要件：図1（1）を参照

卒業要件単位数 124 単位以上（健康医療科学部を除く）

本学において1・2年次に70 単位以上を修得し、3・4年次に天津外国語大学のそれぞれ希望するプログラムで定められた単位を修得する。帰国後、天津外国語大学において修得した単位のうち60 単位を上限として本学の単位として読み替え認定を受ける。

(2) 天津外国語大学を卒業するための卒業要件：図1（2）を参照

卒業要件単位数 120 単位以上

本学において1・2年次に修得した単位（70 単位以上のうち70 単位）を、天津外国語大学の単位として読み替え認定を受ける。3・4年次に天津外国語大学において60 単位以上を修得する。

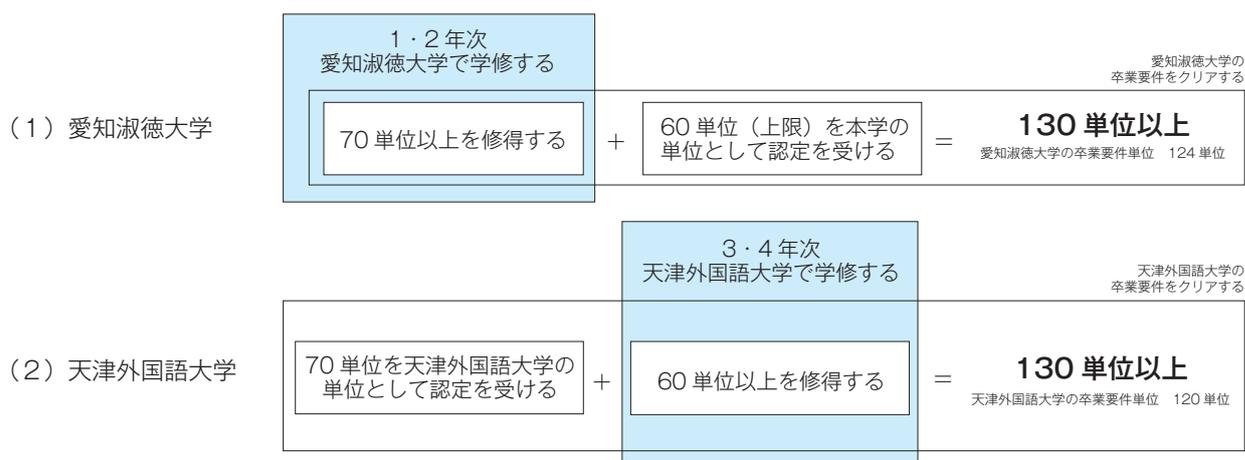


図1 愛知淑徳大学と天津外国語大学における単位の修得と相互単位認定の仕組み

※4年間（最短）で両大学の学位を取得するには、天津外国語大学で修得した単位を自分の所属する学科（専攻）の科目として認定を受けなければなりません。したがって、専門科目の包括認定を認めない学科（専攻）、または、3・4年次において必修科目が設定されている学科（専攻）では、4年間で両大学の学位を取得することは極めて難しいと言えます。

留学時期

天津外国語大学の学年暦は9月に始まります。9月初旬から1月中旬までが第1学期、2月中旬から7月中旬が第2学期です。

当プログラムを履修する学生は1、2年次を本学で修学した後、天津外国語大学の第2学期の開始に合わせて出発します。



■注意事項

出願時に2年生の学生（全学部）のみ出願が可能です。

出願資格

複数学位取得プログラムの出願資格の一つは、1・2年次に70単位以上を取得していることです。学内選考出願時に、2年生後期修了時に70単位を取得見込みであることが条件となります。

また、二つめは、学内選考出願時でGPA（通算）2.3ポイント以上かつHSK3級以上または語学科目（中国語）のGPAが2.3以上あることです。入学以降の通算のポイントですので、出願時に評価が出ているすべての学期の成績がGPAの算出に用いられます。そのため、普段からGPAのポイントを下げないように気をつけなくてはなりません。

※1・2年次で中国語を精力的に学習し、複数学位取得への意欲のある学生を対象とします。

留学の延長

天津外国語大学に留学中の2年間にやむを得ない事情で履修の継続が困難であると判断された場合は、1年を超えない範囲で留学期間の延長を申請することができます。留学の延長を希望する場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

なお、留学延長期間中の学納金については、本学の「学納金等納入規程」第8条に則り、本学へ納入するものとします。

複数学位取得プログラム留学生の義務

複数学位取得プログラムによる留学は、本学の認定を受けていくものです。複数学位取得プログラム留学生は、次の義務を果たさなければなりません。

- 1) 留学期間中も本学の学納金を納入すること。
- 2) 留学先において単位を修得すること。
- 3) 留学終了後1か月以内に帰国報告書を提出し、単位認定申請手続きを行うこと。
- 4) 「愛知淑徳大学留学生派遣規程に基づく留学に関する誓約書」を遵守すること。

学内選考試験

学内選考試験は、筆記試験と面接の結果に基づき、評価は筆記試験50%、面接50%の割合で行われ、総合的に判断します。出願者のみに、筆記試験の過去問題を配付していますので、希望者は出願後に国際交流センターに申し出てください。

※原則として、出願後の辞退は認められません。



1-3 単位修得留学 [窓口：国際交流センター]

留学先の大学で修得した単位が本学の単位として認定される制度です。交換留学と同様に、原則として留学による留年はありませんが、留学先にかかるすべての費用と本学の授業料・教育充実費の両方を支払う必要があります。なお、語学学校や専門学校は留学先として対象外です。また、留学先の大学で語学コースのみを履修した場合も、修得した単位を本学の単位として読み替えることはできません。この制度を利用するには、自分で留学を希望する大学へ出願して入学許可を得た上で、学内の審査において単位修得留学生として認定されることが条件となります。

※日本学生支援機構奨学金の貸与者は留学中の奨学金が「休止」となる場合がありますので、必ず P.47 を参照してください。

◆出願と学内申請

希望する大学へ各自で直接出願します。大学によって出願基準は異なりますので、条件を満たす大学を調べて出願をし、入学許可書を得てください。その後、学内委員会における単位修得留学審査で認定されると単位修得留学が可能になります。

単位修得留学申請に関する書類は、遅くとも出発の3か月前までには国際交流センターに提出しなければなりません(下記の申請時期を参考にしてください)。学内審査の手続き方法については以下を参照してください。申請書類は国際交流センターで配付します。

申請時期	2019年度後期に留学スタート：2019年 5月31日(金)まで 2020年度前期に留学スタート：2019年 11月29日(金)まで
申請書類	①愛知淑徳大学単位修得留学願書(所定様式) ②志望理由書(所定様式) ③履修計画書(所定様式) ④履修成績照会(過去を含めた全成績、CampusSquare から各自印刷) ⑤留学先大学の入学許可書の写し ①～③の所定様式は国際交流センターで受け取る。
申請手続きの流れ	1. 所属学部の学科、専攻またはコースの教務委員に申請書類一式を提出し、履修計画書について相談・確認後、学科、専攻またはコースの主任に申請についての承認を得る。 2. 申請書類一式を国際交流センターへ提出する(提出期限は申請時期を参照してください)。 3. 学内認定審査を経て、単位修得留学許可を得る。
出発前・帰国後のオリエンテーション	単位修得留学生として認定された場合、出発までの間に国際交流センターで実施されるオリエンテーションや海外危機管理セミナーに参加すること。帰国後は帰国報告書を国際交流センターに提出する。報告書の様式は国際交流センターで留学前に配付する。

◆単位認定

留学先大学で修得した単位認定については、「留学生派遣規程」(P.54～P.55)によります。なお、教職・学芸員・司書課程科目については、留学先での科目との読み替えができません。よって、これらの資格取得を目指している学生は、出願前に教務事務室/教学事務室の担当者に必ず相談をしてください。4年生での留学を検討している学生については、現地で卒業論文、ゼミ論文に取り組みなくてはならないこともあります。また、卒業に必要な単位を留学先で修得することができない場合や本学の卒業判定までに留学が終了しない場合は、4年間での卒業が不可能となりますので気をつけてください。



■注意事項

手続きについて（留学先への手続き、学内申請の時期など）

単位修得留学の学内申請方法についてはP.10を参照してください。注意しなければならないのは、学内申請をするまでに、留学先大学への入学手続きを各自で行う必要があるということです。単位修得留学願書を提出する際に、留学先大学が発行した入学許可書を添付しなければなりません。手順をよく確認した上で準備を進めてください。

単位修得留学生の義務

交換留学生と同様に単位修得留学生も本学の認定を受けていくものです。単位修得留学生は、次の義務を果たさなければなりません。

- 1) 留学期間中も本学の学納金を納入すること。
- 2) 留学先において単位を修得すること。
- 3) 留学修了後1か月以内に帰国報告書を提出し、単位認定申請手続きを行うこと。
- 4) 「愛知淑徳大学留学生派遣規程に基づく単位修得留学に関する誓約書」を遵守すること。

単位修得留学と交換留学の出願

単位修得留学後に交換留学に出願することや、交換留学後に単位修得留学することは可能ですが、留学期間については制限があります。愛知淑徳大学留学生派遣規程では、「留学は2年を超えない範囲」と定めており、ここで言う留学には交換留学と単位修得留学の両方が含まれます（留学Q & A P.48も参考にしてください）。また、交換留学の後に継続して同じ留学先で単位修得留学をしたい場合は、所定の手続きを経て、認定を受けなければなりません。



1-4 短期研修 [窓口：国際交流センター]

国際交流センターが提供している約3～4週間の語学・インターンシップ研修科目です。夏季休暇と春季休暇中に本学の交流協定校などで実施され、修了者には本学の科目として2単位が与えられます。渡航前には複数回のオリエンテーションがあり、研修には本学教員が一定期間引率をします。内容はプログラムによって異なりますが、語学研修だけでなくインターンシップを行ったり、その国の文化を学んだりできるようなカリキュラムとなっています。将来的に長期留学を目指す人や海外留学が初めての人にとって、参加しやすいプログラムです。

研修プログラムの内容や実施期間は年度によって変わります。(P.13 参照)

◆申し込みの流れ

①国際交流センターホームページや掲示板、および CampusSquare で募集説明会の日程を確認

募集説明会の日程は、国際交流センターホームページや掲示板、および CampusSquare でお知らせします。募集時期が近づいたらこまめにチェックしてください (P.22～P.23 の留学スケジュール参照)。



②募集説明会に出席

詳しいスケジュール、参加費用、申込み方法に関する説明をします。**募集説明会に参加した学生のみ申込みができますので、必ず参加してください。**授業などやむを得ない事情により募集説明会に出席できない学生は、募集説明会実施日より前に国際交流センターに相談してください。



③申込み

申込書に必要な事項等を記入して申込締切日までに国際交流センターへ提出してください。応募状況や研修によっては書類審査や面接による選抜を行う場合もあります。



④参加決定

掲示板で参加決定者を発表します。その際、重要事項の連絡や初回オリエンテーションの日程などもお知らせするので、必ず確認してください。



⑤オリエンテーションに出席

出発前に様々なオリエンテーションを行います。必ず出席してください。オリエンテーションでは重要なお知らせをしたり、事前研修として課題が出されたりします。出発前の準備が充実した短期研修になるかどうかの鍵となるのでしっかりと取り組みましょう。



研修先へ出発

※原則として、参加決定後の辞退は認められません。



短期研修

夏季研修

科目名	英語海外セミナーⅠ	単位数	2単位
研修先	ノースカロライナ大学ウィルミントン校(アメリカ)	実施期間	2019年度は開講しません
対象	全学部生	応募条件	特になし

アメリカ東海岸にある静かなウィルミントン市に位置するこの大学は、教育水準の高さと全米でも屈指のきれいなキャンパスで知られています。英語コースも丁寧な指導で基礎から応用まで学生のレベルに応じた充実したカリキュラムが組まれています。

科目名	英語海外セミナーⅡ	単位数	2単位
研修先	フレーザーバレー大学(カナダ)	実施期間	8月上旬～9月上旬
対象	全学部生	応募条件	特になし

カナダ西海岸のバンクーバー郊外に位置するアボッツフォード市にある自然に囲まれた緑豊かな環境で英語を学びます。8月でも最高気温の平均は24度程度です。快適な環境で英語の4技能を実践的な面から学ぶことができます。

科目名	韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ(韓国)	単位数	2単位
研修先	梨花女子大学	実施期間	8月下旬～9月上旬
対象	全学部生(男子も可)	応募条件	特になし

ソウルの梨花女子大学校で様々な国の学生と共に韓国語と韓国文化の集中授業を受けます。大学のある新村(シンチョン)は若者の街として活気があり、滞在中にソウルの町を満喫できます。通常の授業の他に、梨花女子大学校と愛知淑徳大学の学生と一緒に研究し、発表する日韓共同授業もあり、韓国の同年代の学生と深く交流できます。これは韓国の学生の考え方、日本との違いを学ぶよい機会となります。また、文化講座や文化施設見学の観光も予定されており、韓国の文化や日常生活を体験することができます。

春季研修

科目名	英語海外セミナーⅢ	単位数	2単位
研修先	CQ大学(オーストラリア)	実施期間	2月上旬～3月中旬
対象	全学部生	応募条件	特になし

オーストラリア東海岸のロックハンプトンは、ケアンズとブリスベンの中に位置し、温暖な気候で緑や花に囲まれた恵まれた環境です。南半球の2-3月は夏から秋に相当します。アウトドア活動も含めて、アクティブな英語の学修を楽しむことができます。

科目名	米国NPOインターンシッププログラム	単位数	2単位
研修先	ワシントンD.C. 周辺の非営利組織	実施期間	2月中旬～3月中旬
対象	全学部生・大学院生	応募条件	特になし

The Civil Society Consulting Group LLC (CSCG) と本学との共同プログラムで、ワシントンD.C. 周辺の非営利組織(NPO, NGO, ボランティア団体)でインターンシップを行います。研修期間中はホームステイをしながらアメリカの多方面にわたる日常生活も経験できます。他の語学研修とは異なり、現地ですぐにインターンシップ研修が始まるため、出発前に約4か月の事前研修を受けて十分な準備をします。そのため、募集期間が他の春季研修より早いので注意してください。

科目名	中国語海外セミナーⅠ(中国)	単位数	2単位
研修先	南京師範大学	実施期間	2月中旬～3月中旬
対象	全学部生	応募条件	特になし

南京師範大学の宿泊施設に滞在しながら、中国語・文化研修を受けます。この研修の目的は中国で本場の中国語を学習するとともに、中国の文化と歴史に触れ、中国人との交流を通じて中国社会に対する理解を深めることです。研修期間中に企画されている南京師範大学日本語学科の学生との交流会は、中国語コミュニケーションを実践することができ、異文化理解を深める絶好の機会となります。また、古都・南京の名所旧跡を巡ることは、中国の歴史を学ぶ上でも貴重な経験となり、日本への帰国前に訪れる上海では、中国近代化の現状を目の当たりにして、中国の新たな一面を発見することになるでしょう。



1-5 長期海外履修制度 [窓口：各学部]

※ P.14 ~ P.16 の各プログラムの問い合わせ先にご確認下さい

長期海外履修制度は、交換留学に必要な語学能力の認定基準を満たさないものの、それに次ぐ語学能力を持ち、語学力のさらなる向上のために海外の大学で長期間学びたい学生に留学の機会を与えることを主たる目的として制定されました。この制度を利用した留学プログラムは各学部・学科が独自に提供するものであり、国際交流センターが提供する留学プログラムとは異なりますので、注意してください。このプログラムは、提携校で本学のカリキュラムに則した授業を現地で履修します（通算1年以内）。

詳細については、各学部の履修要覧を参照してください。

長期海外履修制度

文学部 英文学科 / 総合英語学科

問い合わせ先 全件：文学部 橋木 勇作 otekiy@asu.aasa.ac.jp

● 1 セメスター / 前期出発

国名	アメリカ
プログラム名	サザンニューハンプシャー大学長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年3月上旬～7月上旬

国名	イギリス
プログラム名	リーズ大学長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年4月上旬～7月下旬

国名	イギリス
プログラム名	ヨークセントジョン大学長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年4月上旬～7月下旬

国名	オーストラリア
プログラム名	ビクトリア大学長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年3月中旬～7月中旬

● 1 セメスター / 後期出発

国名	アメリカ
プログラム名	ニューヨーク市立大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月上旬～12月中旬

国名	アメリカ
プログラム名	カリフォルニア州立大学サンマルコス校長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月上旬～12月中旬

国名	アメリカ
プログラム名	ノースカロライナ大学ウィルミントン校長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月上旬～12月中旬



国名	カナダ
プログラム名	メディシンハットカレッジ長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月下旬～12月中旬

国名	カナダ
プログラム名	フレーザーバレー大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月下旬～12月中旬

国名	イギリス
プログラム名	リーズ大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年10月上旬～2月中旬

国名	イギリス
プログラム名	ヨークセントジョン大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年10月上旬～2月中旬

国名	オーストラリア
プログラム名	キャンベラ大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年8月下旬～12月中旬

● 1年間／前期出発

国名	オーストラリア
プログラム名	CQ大学長期海外セミナー 2019年度前期・後期
実施期間	2019年3月中旬～12月下旬

国名	オーストラリア
プログラム名	西シドニー大学長期海外セミナー 2019年度前期・後期
実施期間	2019年2月中旬～11月中旬

● 1年間／後期出発

国名	アメリカ
プログラム名	ミシシッピ大学長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年8月上旬～2020年5月中旬

国名	アメリカ
プログラム名	ノースカロライナ大学長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年8月上旬～2020年5月上旬

国名	アメリカ
プログラム名	カリフォルニア州立大学サンマルコス校長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年8月上旬～2020年5月中旬

国名	カナダ
プログラム名	メディシンハットカレッジ長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年8月下旬～2020年6月上旬



国名	カナダ
プログラム名	フレーザーバレー大学長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年8月下旬～2020年5月中旬

国名	イギリス
プログラム名	リーズ大学長期海外セミナー 2019年度後期・2020年度前期
実施期間	2019年9月下旬～2020年6月中旬

交流文化学部

● 1 セメスター／前期出発

国名	韓国
プログラム名	梨花女子大学校長長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年3月初旬～8月下旬
問い合わせ先	交流文化学部 チョ スルソップ sulseobj@asu.aasa.ac.jp

国名	中国
プログラム名	北京語言大学長期海外セミナー 2019年度前期
実施期間	2019年2月下旬～2019年6月下旬
問い合わせ先	交流文化学部 馮 富榮 lili@asu.aasa.ac.jp 杜 英起 dyq@asu.aasa.ac.jp

● 1 セメスター／後期出発

国名	韓国
プログラム名	梨花女子大学校長長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年9月初旬～2020年2月下旬
問い合わせ先	交流文化学部 チョ スルソップ sulseobj@asu.aasa.ac.jp

国名	中国
プログラム名	北京語言大学長期海外セミナー 2019年度後期
実施期間	2019年9月上旬～2020年1月上旬
問い合わせ先	交流文化学部 馮 富榮 lili@asu.aasa.ac.jp 杜 英起 dyq@asu.aasa.ac.jp



1-6 海外フィールドスタディ、海外研修、Study Abroad、海外インターンシップ [窓口:各学部、キャリアセンター]

※ P.17 ~ P.20 の各プログラムの問い合わせ先にご確認下さい

各学部、キャリアセンターで提供しているプログラムです。これらのプログラムの中には他学部・他学科開放科目、全学共通履修科目として提供されているものもあります。申込みの手順など詳しくは各学部、キャリアセンターにお問い合わせください。

海外フィールドスタディ

人間情報学部

国名	アメリカ
プログラム名	人間情報学部専門科目「海外フィールドスタディⅡ」 未来都市サンフランシスコ・シリコンバレーで学ぶIT産業、図書館、デザイン
実施期間	2019年8月下旬～2019年9月上旬
問い合わせ先	人間情報学部 森 博子 field.study.nhu@gmail.com

福祉貢献学部

国名	スウェーデン
プログラム名	コミュニティ・アクティブ・ラーニング（子ども福祉）：スウェーデン保育研修
実施期間	2019年8月～9月
問い合わせ先	福祉貢献学部 岡田 泰枝 yasokada@asu.aasa.jp

交流文化学部

国名	アメリカ（カリフォルニア州 サンフランシスコ）
プログラム名	フィールドスタディ言語1（アメリカ）
実施期間	2019年9月上旬～9月中旬
問い合わせ先	交流文化学部 太田 浩司 giants@asu.aasa.ac.jp

国名	台湾
プログラム名	フィールドスタディ交流1（台北・台南）
実施期間	2019年8月下旬～9月上旬
問い合わせ先	交流文化学部 西尾 林太郎 rintaro2@asu.aasa.ac.jp

国名	ベトナム・シンガポール・マレーシア
プログラム名	フィールドスタディ交流2（開発と交流）
実施期間	2019年8月中旬
問い合わせ先	交流文化学部 ブイ チ トルン trung@asu.aasa.ac.jp



国名	アメリカ ハワイ
プログラム名	フィールドスタディ観光2（観光産業）
実施期間	2020年2月中旬～2月下旬
問い合わせ先	交流文化学部 加納 和彦 52cano@asu.aasa.ac.jp

国名	韓国
プログラム名	フィールドスタディ言語3（韓国）大邱カトリック大学校
実施期間	2019年9月上旬
問い合わせ先	交流文化学部 チョ スルソップ sulseobj@asu.aasa.ac.jp

国名	中国
プログラム名	フィールドスタディ言語2（中国）重慶、上海
実施期間	2020年3月上旬～3月中旬
問い合わせ先	交流文化学部 杜 英起 dyq@asu.aasa.ac.jp

海外研修

文学部 英文学科・総合英語学科

国名	オーストラリア
プログラム名	キャビンクルーコース ウエスタンシドニー大学およびカンタス航空訓練施設
実施期間	2020年2月上旬～2020年3月上旬
問い合わせ先	文学部 樽木 勇作 otekiy@asu.aasa.ac.jp

交流文化学部

国名	アメリカ
プログラム名	英語海外研修（サンディエゴ州立大学）
実施期間	2019年8月～9月
問い合わせ先	交流文化学部 TOFF Mika mty@asu.aasa.ac.jp

国名	中国
プログラム名	中国語海外研修（北京語言大学）
実施期間	2019年8月上旬～9月上旬
問い合わせ先	交流文化学部 杜 英起 dyq@asu.aasa.ac.jp



ビジネス学部

国名	中国（上海市）
プログラム名	OVERSEAS ICP（研修先 上海市内日系企業）
実施期間	2019年8月下旬
問い合わせ先	ビジネス学部 フ コウソウ fkousou@asu.aasa.ac.jp

Study Abroad

グローバル・コミュニケーション学部

国名	アメリカ カリフォルニア州
プログラム名	Study Abroad カリフォルニア大学 ロサンゼルス校（UCLA）エクステンション
実施期間	2019年6月～8月
問い合わせ先	グローバル・コミュニケーション学部 MOLDEN Danny T dmolden@asu.aasa.ac.jp

国名	アメリカ カリフォルニア州
プログラム名	Study Abroad サン・ディエゴ州立大学
実施期間	2019年6月～8月
問い合わせ先	グローバル・コミュニケーション学部 McGEE Jennifer J. jmcgee@asu.aasa.ac.jp

国名	アメリカ ハワイ州
プログラム名	Study Abroad ハワイ大学
実施期間	2019年6月～7月
問い合わせ先	グローバル・コミュニケーション学部 MOLDEN Danny T dmolden@asu.aasa.ac.jp

国名	アメリカ ミネソタ州
プログラム名	Study Abroad ミネソタ大学
実施期間	2019年6月～8月
問い合わせ先	グローバル・コミュニケーション学部 MOLDEN Danny T dmolden@asu.aasa.ac.jp

国名	カナダ バンクーバー市
プログラム名	Study Abroad サイモンフレイザー大学
実施期間	2019年7月～8月
問い合わせ先	グローバル・コミュニケーション学部 McGEE Jennifer J. jmcgee@asu.aasa.ac.jp



海外インターンシップ

ビジネス学部

国名	アメリカ、ベトナム
プログラム名	BILINGUAL INTERNSHIP OVERSEAS (研修先 不定)
実施期間	2020年2月～2020年3月
問い合わせ先	ビジネス学部 真田 幸光 ysanada@asu.aasa.ac.jp

キャリアセンター

国名	台湾 台北市、ニュージーランド オークランド、アメリカ ハワイ
プログラム名	海外インターンシップ研修
実施期間	台湾：2019年8月上旬～9月上旬（夏季集中）1か月 ニュージーランド：2019年8月中旬～9月上旬（夏季集中） 2020年2月中旬～3月上旬（春季集中） 夏季・春季とも2週間 ハワイ：2020年2月中旬～2月下旬（春季集中）2週間
問い合わせ先	川上 知子 tkawat@asu.aasa.ac.jp 福田 紗也 fukudas@asu.aasa.ac.jp



2 私費留学（語学留学、大学学部留学、ワーキングホリデー等）

長期で語学留学をする場合や、希望する留学先が本学の交流協定校ではない場合、または学位や資格取得のために卒業後に留学する場合などは、自分で留学手続きを進めていくことになります。各国の教育機関から自分に合った留学先を探すのは、容易なことではありません。半年以上の留学の場合、遅くとも希望する留学時期の1年前から準備を始めることが理想的です。各教育機関によって異なりますが、余裕を持って準備をしないと、出願締め切りに間に合わないこともありますので、注意しましょう。

私費留学が決まった学生は必ず国際交流センターに留学届を提出してください。

〈休学期間中に大学・大学院で単位を修得した場合〉

※休学期間中に留学先で修得した単位について認定を希望する場合は、事前に教務、教学事務室に相談してください。

- ・ 日本学生支援機構奨学金の貸与者は、本学を休学する場合、原則として奨学金は「休止」となります。学生事務室 / 教学事務室で所定の手続きを必ずおこなってください。
- ・ 本学を休学して私費で留学する場合、休学中は本学へ学納金を納める必要はありませんが、「在籍料」を納入しなければなりません。（詳細については経理事務室または管理事務室に確認してください。）留学にかかる費用はすべて自己負担です。また、休学した期間分だけ卒業は延期となります。休学手続きは学生事務室 / 教学事務室で行い、留学届を国際交流センターへ必ず提出してください。
- ・ 私費留学には、語学留学、ワーキングホリデー、大学学部留学などが含まれます。大学院進学や編入学する場合は、本学を卒業もしくは退学して海外の大学に入学しなければなりません。
- ・ 私費留学をする場合、留学斡旋業者を利用する学生が多く見受けられます。これらの業者を利用する場合は、情報収集をした上で、複数の業者を慎重に比較検討してから選択するようにしましょう。独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のホームページでは留学斡旋業者の利用についてのガイドを掲載していますので、こちらも参照すると良いでしょう。

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学支援サイト
「留学斡旋業者の利用について」
http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency/

種別	手続き	留学先	留学中の学籍	経費	募集時期	派遣時期	特徴
語学留学 学部留学	各自	各自で 決定	休学	愛知淑徳大学の在籍料 + 現地の学費及び生活費	留学先により 異なる	休学のタイミングは 前期・後期開始時期 から	・ 興味のある分野を自由に選べる ・ 各自のレベルに応じ、語学学校や専門学校にも留学可能 ・ 手続きはすべて自分で行う* ・ 休学するため、4年間での卒業はできない
ワーキング ホリデー	各自	各自で 決定	休学	愛知淑徳大学の在籍料 + 現地生活費全般	各国のプログラムに より異なる	各国のプログラムに より異なる	・ 海外でのアルバイトが体験できる ・ 国によって学校・就業時間の制限あり ・ 手続きはすべて自分で行う* ・ ビザ発給数に制限がある ・ 休学するため、4年間での卒業はできない

*留学手続きは留学斡旋企業・団体を通じて行うことも可能ですが、本学では特定の企業・団体の紹介を行っていません。



Ⅲ. 出願から留学までのスケジュール

短期・長期に関わらず留学をしようと決意したときから、準備を計画的に始めることが重要です。準備は早すぎるということはありません。

本学が提供するプログラムに出願する場合、まず説明会に参加する必要があります。日程、場所などは国際交流センターホームページや掲示板、および CampusSquare でお知らせします。

(各学部及びキャリアセンターが提供している短期研修と長期海外履修制度については、それぞれの学部、キャリアセンターが窓口となります。)

■交換留学 ●留学開始希望時期のおよそ1年前からの準備が必要です。●募集説明会に出席し、学内選考試験に出願する必要があります。

	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
	<ul style="list-style-type: none"> 留学計画を立てる 情報収集 語学能力試験受験 留学相談 	募集説明参加	学内選考申込	学内選考試験
夏季派遣	随時	10月下旬～11月上旬	11月中旬～12月中旬	12月下旬～1月上旬
冬季派遣	随時	4月下旬～5月上旬	5月中旬～6月中旬	6月下旬

■複数学位取得プログラム

	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
	<ul style="list-style-type: none"> 留学計画を立てる 情報収集 語学能力試験受験 留学相談 	募集説明会参加	学内選考申込	学内選考試験
複数学位取得プログラム	随時	6月上旬	9月中旬	9月下旬

■単位修得留学・私費留学 ●単：単位修得留学、私：私費留学のみに該当する事項を示しています。

	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
	<ul style="list-style-type: none"> 留学計画を立てる 情報収集 語学能力試験受験 留学相談 	<ul style="list-style-type: none"> 資料請求 語学能力試験受験 留学先決定 出願書類をそろえる 	<ul style="list-style-type: none"> 出願 入学許可書を入手 <p>*単：学内審査申込</p>	<ul style="list-style-type: none"> ビザ申請 滞在先の手配 海外留学(旅行)保険加入 <p>*単：学内審査 結果発表</p>
単位修得留学(*単) 私費留学(*私)	随時	出発の1年～半年前まで	出発の半年～3か月前まで *単： 【本学前期に出発する場合】 ⇒前年度の11月中旬に申込 【本学後期に出発する場合】 ⇒5月中旬に申込	(本学前期に出発する場合は、前年度の12月未まで、本学後期に出発する場合は5月未までに) *単：学内審査の結果発表 【本学前期に出発】 ⇒前年度の1月上旬 【本学後期に出発】 ⇒7月上旬

■短期研修 ●国際交流センター開設の短期研修科目です。修了者には2単位が与えられます。必ず説明会に出席してから申し込む必要があります。

	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
	説明会開催	<ul style="list-style-type: none"> 申込期間 ※研修によって申込締切日が異なるため、各自で確認すること 履修者決定 	事前オリエンテーション	危機管理セミナー
夏季休暇中の語学研修 英語海外セミナーⅠ(2019年度は開講しません) 英語海外セミナーⅡ 韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ	4月	5月		8月
春季休暇中の語学研修 英語海外セミナーⅢ 中国語海外セミナーⅠ	10月	11月	履修者決定～出発前まで	12月
春季休暇中のインターンシップ研修 米国NPOインターンシッププログラム	6月	6月～7月		12月



Step 5	Step 6	Step 7	Step 8	Step 9
合否発表	・留学オリエンテーション ・渡航準備	派遣留学生認定式	危機管理セミナー	出発
1月下旬	3月～7月	7月	8月	8月～9月
7月下旬	8月～1月	12月	12月	2月～3月

Step 5	Step 6	Step 7	Step 8	Step 9
合否発表	・留学オリエンテーション ・渡航準備	派遣留学生認定式	危機管理セミナー	出発
11月上旬	11月～1月	12月	12月	2月

Step 5	Step 6	Step 7	Step 8
	危機管理セミナー	渡航準備	出発
*単: 事前オリエンテーション		*私: 休学願、留学届を提出	
単: 留学認定～出発前まで	8月、12月	出発の1か月前まで	

Step 5	Step 6
出発	帰国
8月	9月
2月	3月
2月	3月

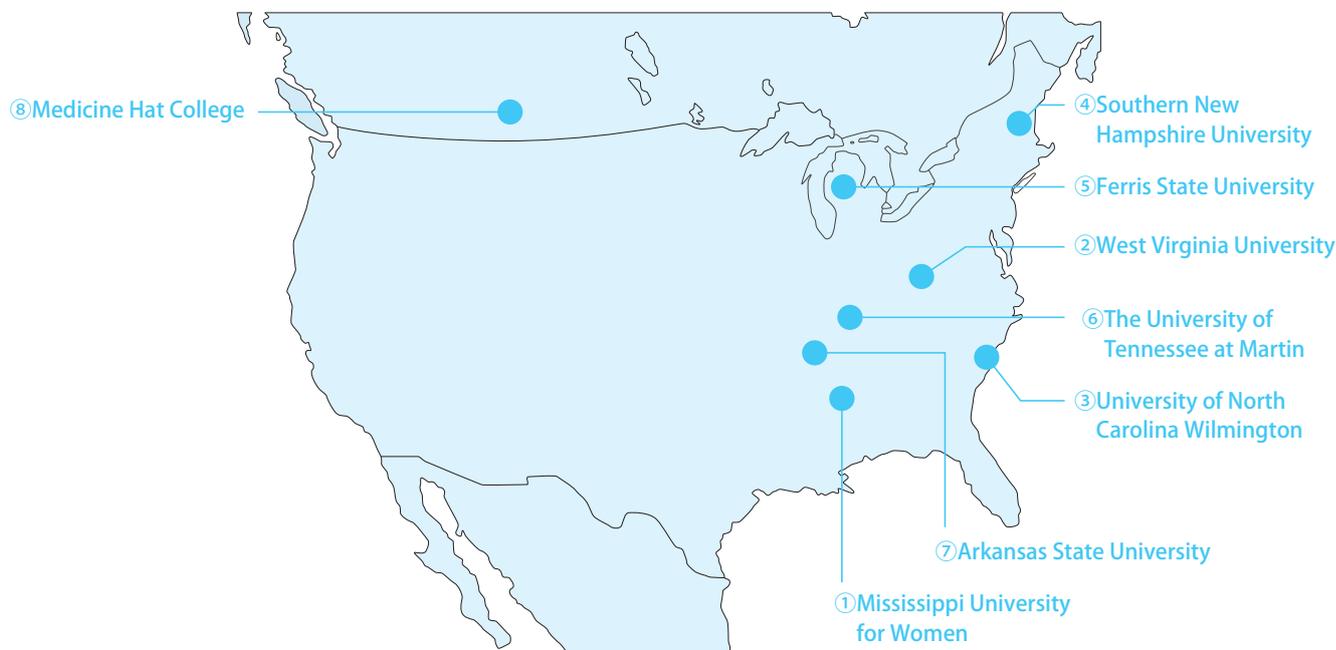
※長期海外履修制度および海外フィールドスタディ、海外研修、Study Abroad、海外インターンシップについては各学部・センター（P.14～P.20の各プログラム問い合わせ先）にお問い合わせ下さい。



IV. 交換留学協定校の出願要件

※出願要件（派遣先大学情報）は、2018年度冬季派遣・2019年度夏季派遣の情報です。今後、出願要件が変更になる場合があります。

北米エリア



国	大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件（いずれか）		寮 (○あり △保証なし)	その他	大学ホームページ
				TOEFL iBT	IELTS (アカデミック・ モジュール)			
夏 季 ア メ リ カ	① Mississippi University for Women	1	2.3	71	5.5	○	・男女可	http://www.muw.edu/
	② West Virginia University	1	2.3	61	6.0	○	・TOEFL iBT71 以上が望ましい	https://www.wvu.edu/
	③ University of North Carolina Wilmington	5	2.3	71	6.0	○	・指定の予防接種必須	https://www.uncw.edu/
	④ Southern New Hampshire University	1	2.5	79 (各セクション 15)	6.5 (各セクション 5.5)	○	・指定の予防接種必須	https://www.snhu.edu/
	⑤ Ferris State University	4	2.5	61	5.5	○	・指定の予防接種必須 ・取得 GPA により受講できる学部が異なる	https://ferris.edu/
	⑥ The University of Tennessee at Martin	1 (1セメスターのみ)	2.3	61	—	○	・指定の予防接種必須	http://utm.edu/
	⑦ Arkansas State University	2	2.3	61	5.5	△	・寮に入れなかった場合は滞在先の契約は自身で英語で交渉・契約すること (現地での生活費の目安： 120,000 円 / 月)	https://www.astate.edu/
カナダ	⑧ Medicine Hat College	1	2.3	79	6.0 (各セクション 5.5)	○		https://www.mhc.ab.ca/

【共通事項】

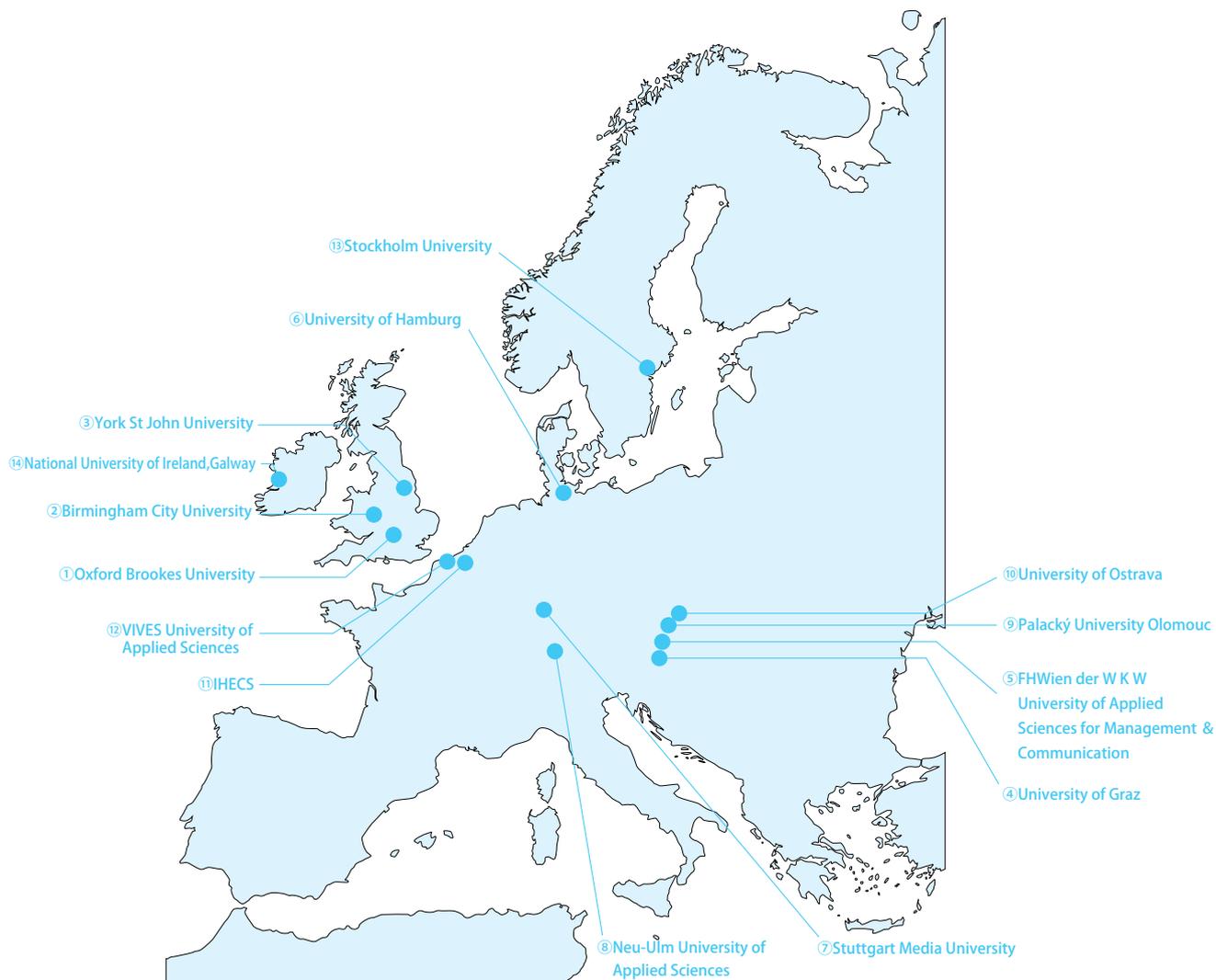
- ・出願資格、語学条件等については変更になる場合がある。最新の情報は交換留学説明会での発表となる。
- ・予防接種義務の記載がない協定校も今後情勢の変動等により輸入ワクチン等の接種が必須になる場合がある。
- ・日本で海外留学保険への加入が必須であるが、それとは別に現地大学より指定の保険加入が必要になる場合がある。
- ・TOEFL iBT および IELTS アカデミックモジュール (IELTS for UKVI Academic) の各セクションとは Listening Reading Speaking Writing の 4 セクションを指す。
- ・また、() 内の数値は各セクションの最低スコア条件で、1 セクションでも所定の点数を下回った場合、要件を満たしたことになる。

【滞在先を自身で契約する場合に関する注意事項】

- ・滞在先については、学生個人の判断・責任において現地にて契約すること。現地で行う滞在先の契約等に関して、自身で英語もしくは現地公用語で交渉・契約すること
- ・滞在先施設の保安、防火、防災、保健衛生等に留意するとともに、宿泊施設に関わる契約上の問題、事故、トラブル（迷惑行為、目的外使用、破損滅失等）によって生じた損害および賠償については、学生本人または保障人の責任において一切を処理すること。



ヨーロッパエリア



	国	大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件	寮 (○あり)	その他	大学ホームページ
					IELTS (アカデミック・モジュール)			
夏 季	イギリス	① Oxford Brookes University 英語コース	1	2.8	IELTS for UKVI Academic4.5 (各セクション 4.0)	○	・ 英語コースへの留学 語学科目の履修で単位読替が可能なのか所属学科と教務/教学事務室で要確認 ・ 学部の留学 各学部留学に必要な IELTS for UKVI スコアを取得していれば可能	https://www.brookes.ac.uk/homepage/
		Oxford Brookes University 学部	1		IELTS for UKVI Academic6.0 (L5.5.R6.0.S5.5.W6.0)	○		
		② Birmingham City University	1	2.3	IELTS for UKVI Academic6.0 (各セクション 5.5)	○	・ 英語関連の授業を受講する場合の語学条件は IELTS6.5 (各セクション 6.0 以上)	http://www.bcu.ac.uk/
		③ York St John University	3	2.3	IELTS for UKVI Academic6.0 (各セクション 5.5)	○		https://www.yorks.ac.uk/



	国	大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件 (いずれか)				寮 (○あり △保証なし ×なし)	その他	大学ホームページ
					TOEFL iBT	IELTS (アカデミック・モジュール)	TOEIC				
							Listening & Reading	Speaking & Writing			
夏 季	オーストリア	④ University of Graz	1	2.3	72	5.5	785	310	○	・初級レベルのドイツ語力を持っていることが望ましい ・学部開始前に有料でドイツ語コースの履修もできる(9月開講)	https://www.uni-graz.at/en/
		⑤ FH Wien der WKW University of Applied Sciences for Management & Communication	1	2.3	72	5.5	785	310	○		http://en.fh-wien.ac.at/home/
	ドイツ	⑥ University of Hamburg	1	2.3	72	5.5	/	/	○	・初級レベルのドイツ語力を持っていることが望ましい ・TOEFL iBT100 または IELTS7.0 以上が望ましい ・学部開始前に有料でドイツ語コースの履修もできる(8月開講)	https://www.uni-hamburg.de/en
		⑦ Stuttgart Media University	1	2.3	72	5.5	/	/	○		https://www.hdm-stuttgart.de/english
		⑧ Neu-Ulm University of Applied Sciences	1	2.3	72 (L17.R18.S20.W17)	6.0	785 (R385 L400)	310 (S160 W150)	△	・寮に入れなかった場合は、滞在先の契約は自身で英語またはドイツ語で交渉・契約すること(現地での生活費の目安: 130,000円/月)	https://www.hs-neu-ulm.de/en/home
	チェコ	⑨ Palacký University Olomouc	2	2.3	48	4.5	600	250	○	・公用語はチェコ語 ・チェコ語の授業も無料で受けられる	https://www.upol.cz/en/
		⑩ University of Ostrava	1	2.3	61	5.0	600	250	○		http://www.osu.eu/
	ベルギー	⑪ IHECS	2	2.3	61	5.0	650	270	×	・滞在先の契約は自身で英語もしくはフランス語で交渉・契約すること(現地での生活費の目安: 125,000円/月)	https://www.ihecs.be/
		⑫ VIVES University of Applied Sciences	1	2.3	61	5.0	650	270	○	・TOEFL iBT72 または IELTS5.5 または TOEIC L&R785,S&W310 が望ましい	https://www.vives.be/en
	スウェーデン	⑬ Stockholm University	3	2.3	72	5.5	/	/	×	・The Department of Child and Youth Studies のみに留学可 ・滞在先の契約は自身で英語もしくはスウェーデン語で交渉・契約すること(現地での生活費の目安: 120,000円/月)	https://www.su.se/english/
	アイルランド	⑭ National University of Ireland, Galway	1	3.0	88	6.5 (各セクション 5.5)	/	/	○		http://www.nuigalway.ie/

【共通事項】

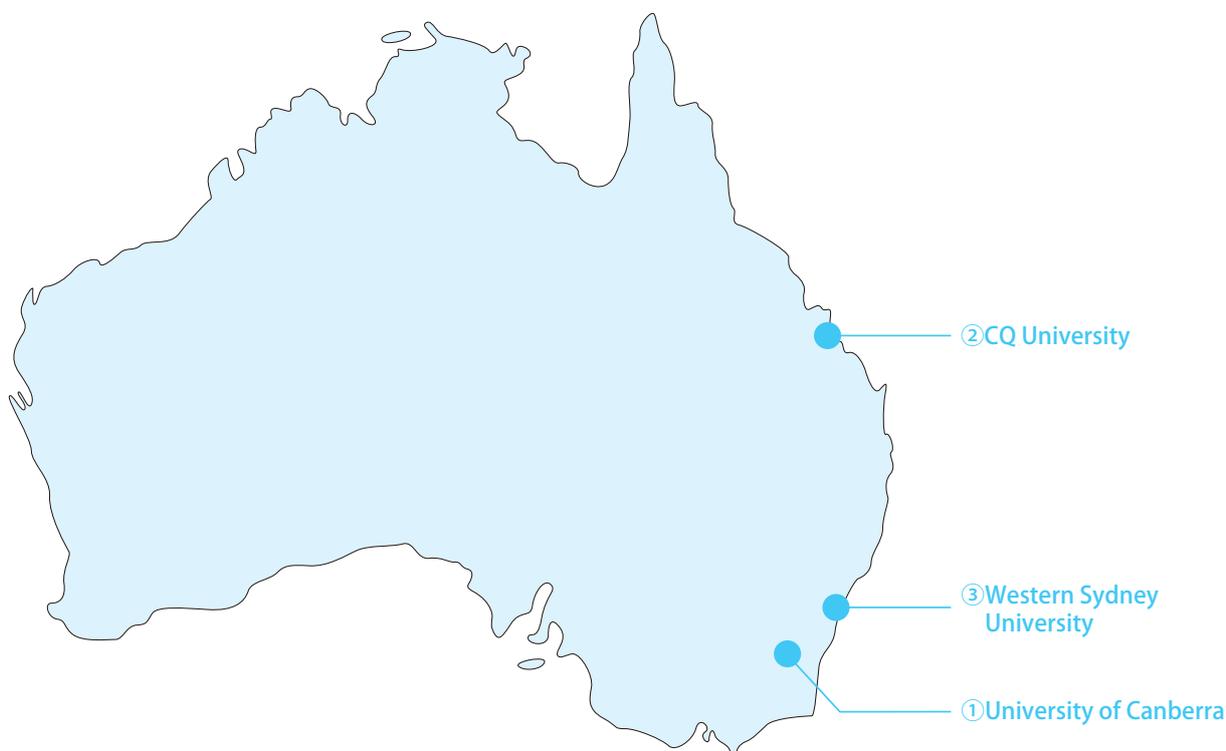
- ・出願資格、語学条件等については変更になる場合がある。最新の情報は交換留学説明会での発表となる。
- ・予防接種義務の記載がない協定校も今後情勢の変動等により輸入ワクチン等の接種が必須になる場合がある。
- ・日本で海外留学保険への加入が必須であるが、それとは別に現地大学より指定の保険加入が必要になる場合がある。
- ・TOEFL iBT および IELTS アカデミックモジュール (IELTS for UKVI Academic) の各セクションとは Listening Reading Speaking Writing の 4 セクションを指す。
- ・また、() 内の数値は各セクションの最低スコア条件で L=Listening R=Reading S=Speaking W=Writing を表す。1 セクションでも所定の点数を下回った場合、要件を満たしたことになる。

【滞在先を自身で契約する場合に関する注意事項】

- ・滞在先については、学生個人の判断・責任において現地にて契約すること。現地で行う滞在先の契約等に関して、自身で英語もしくは現地公用語で交渉・契約すること
- ・滞在先施設の保全、防火、防災、保健衛生等に留意するとともに、宿泊施設に関わる契約上の問題、事故、トラブル(迷惑行為、目的外使用、破損滅失等)によって生じた損害および賠償については、学生本人または保障人の責任において一切を処理すること。



オセアニアエリア



	国	大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件 (いずれか)		寮 (○あり)	その他	大学ホームページ
					TOEFL iBT	IELTS (アカデミック・モジュール)			
夏季・冬季	オーストラリア	① University of Canberra	夏季・冬季各1	2.5	72 (L16.R16.S18.W22)	6.0 (各セクション6.0)	○	夏季派遣の場合、派遣年度の本学での前期のセメスター科目もしくは第2クォーターの科目の受講は不可	http://www.canberra.edu.au/
冬季		② CQ University	1	2.3	75 (各セクション17)	6.0 (各セクション5.5)	○		https://www.cqu.edu.au/
		③ Western Sydney University	1	2.3	82 (L13.R13.S18.W21)	6.5 (各セクション6.0)	○		https://www.westernsydney.edu.au/

【共通事項】

- ・ 出願資格、語学条件等については変更になる場合がある。最新の情報は交換留学説明会での発表となる。
- ・ 予防接種義務の記載がない協定校も今後情勢の変動等により輸入ワクチン等の接種が必須になる場合がある。
- ・ 日本で海外留学保険への加入が必須であるが、それとは別に現地大学より指定の保険加入が必要になる場合がある。
- ・ TOEFLiBT および IELTS アカデミックモジュール (IELTSforUKVI Academic) の各セクションとは Listening Reading Speaking Writing の4セクションを指す。
- ・ また、() 内の数値は各セクションの最低スコア条件で L=Listening R=Reading S=Speaking W=Writing を表す。1セクションでも所定の点数を下回った場合、要件を満たしたことになる。



アジアエリア



	国	大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件 (いずれか)		寮 (○あり)	大学ホームページ	
					HSK	語学科目 GPA			
夏季	中国	① 南京師範大学	2	2.3	3級	2.3	○	http://www.njnu.edu.cn/	
		② 北京師範大学	2	2.3	3級	2.3	○	http://www.bnu.edu.cn/	
冬季		③ 天津外国語大学	3	2.3	3級	2.3	○	http://www.tjfsu.edu.cn/	
夏冬季季		④ 北京語言大学 ※「長期海外セミナー中国語1～10」 参加学生のみ出願可能	夏季・冬季 各1	2.3	3級	2.3	○	http://www.blcu.edu.cn/	
夏季		台湾	⑤ 文藻外語大学	1	2.3	3級	2.3	○	http://www.wzu.edu.tw/
			⑥ 静宜大学	3	2.75	3級	2.3	○	http://www.pu.edu.tw/
			⑦ 台南應用科技大學	1 (1セメスターのみ)	2.3	3級	2.3	○	http://www.tut.edu.tw/bin/home.php



	国		大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件 (いずれか)		寮 (○あり)	その他 大学ホームページ
						TOPIK	語学科目 GPA		
夏季		⑧	中央大学校	1	2.3	3級	2.3	○	https://www.cau.ac.kr/index.do
冬季	韓国	⑨	大邱カトリック大学校	1	2.3	3級	2.3	○	http://www.cu.ac.kr/index.php
		⑩	東亜大学校	1	2.3	3級	2.3	○	http://www.donga.ac.kr/Default.aspx
		⑪	梨花女子大学校	1	2.5	3級	2.3	○	・男女可 http://www.ewha.ac.kr/mbs/ewhagr/index.jsp
		⑫	国立木浦大学校	1	2.3	3級	2.3	○	http://www.mokpo.ac.kr/index.9is

	国		大学名	募集人数	出願資格 GPA	語学条件 (いずれか)		寮 (○あり)	大学ホームページ
						TOEFL iBT	IELTS (アカデミック・モジュール)		
夏季	香港	⑬	The Hang Seng University of Hong Kong	1	2.5	79	6.0	○	https://www.hsu.edu.hk/en/

【共通事項】

- ・出願資格、語学条件等については変更になる場合がある。最新の情報は交換留学説明会での発表となる。
- ・予防接種義務の記載がない協定校も今後情勢の変動等により輸入ワクチン等の接種が必須になる場合がある。
- ・日本で海外留学保険への加入が必須であるが、それとは別に現地大学より指定の保険加入が必要になる場合がある。



V. 留学体験記

交換留学

2017年8月～2017年12月



 アメリカ
West Virginia University

文学部 英文学科

品川 菜々子

ウェストバージニア大学は、キャンパスのあるウェストバージニア州のモーガンタウンはアメリカの東側に位置し、ニューヨークやワシントンD.C.へはバスで7時間くらいの距離にあります。私は11月の休暇をつかってナイアガラの滝へも行きました。州立大学ということもあり、建物はとても立派で学生も多く在籍しています。その中で留学生の数は多くはないですが、寮では留学生用のフロアが用意されていたのでそこで様々な国の学生と交流できます。もちろん授業やサークルを通して現地アメリカの学生とも時間を過ごせます。ジャパニーズクラブというサークルがあって、そこで多くの友達ができました。週に一度ミーティングがあり、季節ごとにイベントがありました。私は英文学科だったので、授業は自由に好きなものを取りことができました。やはり、外国語で一般の授業を受けるので初めはついていくことで精一杯でしたが、予習や授業の録音を聞いて復習することで理解できるようになりました。また、現地の先生は優しく、オフィスアワーという相談時間も設けられているのでそこでお話することもできます。

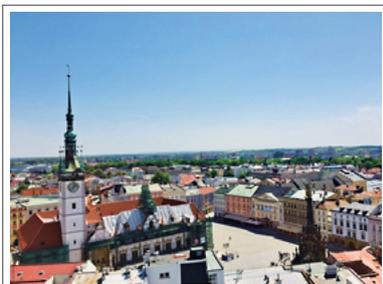
留学条件取得では、TOEFL iBTというリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングが含まれたテストを受けました。国際交流プラザのテキストを使って勉強可能です。特にスピーキングやライティングは時間をかければ点数が伸びると思います。ここで勉強したことが実際に現地で論文を書く際やTOEICにも活かされました。

交換留学を目指す学生のみなさん、私は3ヶ月語学留学をしたこともありますが、交換留学ではまたそれとはちがう自信ができました。それは地道に勉強してつかった結果だったり、1人で海外渡航して新たな友達に出会えたからだと思います。アメリカの大学で魅力的な教授の好きな授業を受けて、興味の幅も広がりました。日本に遊びに来てくれる友達もできて、一生の思い出が作れました。ちなみに、留学前後でTOEICの点数は特に勉強していなくても100点以上伸びました。英語力以上のものが交換留学では得られます。興味のある方はぜひトライしてみてください！応援しています。





交換留学



チェコ
Palacký University Olomouc

2017年9月～2018年5月

交流文化学部 交流文化学科

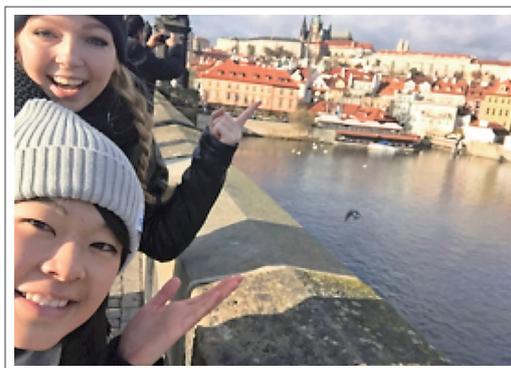
加藤 千枝

10ヶ月間という長い留学期間でしたが、気づけばあっという間に終わってしまいました。留学中の一番の思い出は、世界各国に友達ができたとことです。ヨーロッパからアジアまで様々な国から留学生が来ていたので、各地の文化や観光について聞くのが楽しかったです。特に仲良くなった留学生と一緒に旅行に行ったり、カフェでお茶をしたり、日常生活から英語を使い、コミュニケーションできることが楽しく、英語をもっとうまく話せるようになりたいと思う日々が続きました。そのため、授業では英語の授業を履修し、英語力向上に向けて励んでいました。

留学中には、日本語を教える機会が多くありました。パラツキー大学では、日本語学科があるため、数回ティーチングアシスタントとして会話のクラスに参加し、学生の質問に答えたり、会話練習の手伝いをしたりしていました。授業は、日本語で行われ、学生は日本語で受け答えをしていたので、レベルの高さに驚きました。チェコに留学して、日本語学科の学生や他の国からの留学生と関わる中で、日本について多く質問され、答えられなかった事も度々あったので、再度日本について勉強していこうと思うきっかけとなりました。

チェコでは、公用語はチェコ語のため、買い物や旅行に行く度に、言葉が通じないことがあり、チェコ語を理解したいと強く思いました。そのため、チェコ語の授業を履修し、授業で習った単語を日常生活で使い、チェコ人の友人の自宅に泊まった際に、チェコ語で挨拶や簡単な会話をすることで、友人の家族とコミュニケーションが取れた時は嬉しかったです。どんなに簡単な単語でもいいのでその国の言語で話す事によって、会話が弾み、仲良くなれるので、英語が母語でない国に留学した際には、少しでもその国の言語を知っておくといいかもしれません。

最後になりますが、もし少しでも交換留学に挑戦してみたいと思っている方がいれば、ぜひ諦めずに挑戦してほしいです。きっと素晴らしい体験が待っていますよ。





交換留学

2017年9月～2018年6月



 中国
南京師範大学

交流文化学部 交流文化学科

足立 春佳

ふとした瞬間、スマホのカメラロールを見返すことがあります。カメラロールの三分の二は南京留学中に撮ったものでした。「皆、何しているかな～」、「あの子の国では今何時ごろなんだろう」などと考えながら、写真を見返しては心が温かくなります。

最近、多くの大学生が留学に行きます。そのため、留学に行くことが特別ではありませんが、留学中に経験したことは私だけの特別なものだと思います。本当に濃い10か月間でした。

留学中、時間をどう過ごすかは全て自分次第です。私は、留学期間中いろんな人に出会い、様々な景色を見て、嫌なことも楽しいことも面白いことも沢山経験して、刺激と影響をいっぱい受けました。世界各国の人と出会えるのは、本当に貴重なことです。中国語で会話して、仲良くなって、一緒にご飯を食べたり、遊びに出かけたり、一緒に勉強したり・・・私は英語があまり話せませんが、中国語で色んな国の人と会話できるのです。それが本当に嬉しくて、言語を学ぶ楽しさを実感しました。留学期間中に、かけがえのない友達もできました。インドネシア人とロシア人と韓国人です。他愛もない話から、深い話まで。恋の相談や、悩み相談もできます。もしかしたら日本の友達よりも仲がいかもかもしれません。一緒にいてすごく楽しくて、居心地よくて、今でも連絡を取り合う、私にとって励みとなる存在です。

中国人との出会いももちろんありました。授業も寮も留学生と一緒になので、中国人と仲良くなりたいと思ったら自分で行動するしかありません。イベントなどに参加して仲良くなることもできますし、人からの紹介で日本人学科の学生とつながることもできます。私の場合、日本にいる時に、交換留学で愛知淑徳大学に来ている子と仲良くなっていたので、南京で再会するという事もありました。さらに道で声をかけてくれた人と仲良くなって、一緒にでかけたこともあり、美術の先生をしているおじいさんと出会ったこともあって、似顔絵を描いてもらったり、一緒にご飯を食べたりもしました。

もしも、この先留学を考えている方は、ぜひ一歩踏み出してみしてほしいと思います。

今まで知らなかった広い世界を知るきっかけにもなり、また日本という国を違った視点から見るきっかけにもなります。経験は自分だけの宝になります。





交換留学

2017年9月～2018年6月

中国
北京師範大学

交流文化学部 交流文化学科

柴田 莉沙

私は大学4年間の中でしっかりと中国語を習得するという目標を入学時に掲げ北京師範大学への交換留学を決意しました。帰国後、目指してきたHSK6級に無事合格することができました。今回の留学で初めて中国を訪れたので不安もありましたが、留学を終え振り返ってみると留学生活は毎日がとても刺激的で忘れることのないかけがえのない経験ができ、大きな財産となりました。

初めは自分の中国語に自信がなく、聞き取れないことを恐れて消極的になってしまいましたが、どんな時でも聞こえてくるのは中国語の環境で少しずつ聞き取れるようになり積極的に留学生と観光地を巡ったり、交流会や日中友好成人式に参加したりしました。留学の良いところは学んだばかりの単語が中国人との会話で出てくるといような場面が多い点だと思います。話す・聞く際のボキャブラリー数が日本とは全く違います。

クラスには14カ国からの留学生が集まりました。授業は読解、聴解、会話、新聞の4科目です。1番印象に残っている授業は新聞です。中国の新聞を読みディスカッションをします。ディスカッションの中では中国で最近生まれた流行語や時事問題について理解を深められると同時に各国の考え方や政策、歴史についても知ることができ視野がとても広がりました。

留学中は日本を代表して発言するので日本を一度離れて改めて自国について考える・知ることができる貴重な機会となりました。

中国で出逢った人達はみんなやさしく助けてくれますし、寮生活では他国の留学生とは家族のような存在となり毎学期の別れが辛かったです。

また困難に直面した時、前向きに立ち向かう強い精神力を培い、感じた自分自身の成長と充実感は学生生活をより豊かなものにしました。初めは自分の中国語に落胆する日々を送っていましたが、最後の学期ではクラスの優秀学生に選ばれたことはこれから先も私の自信と支えになると確信しています。





交換留学

2018年3月～2018年6月



**中国
天津外国語大学**

交流文化学部 交流文化学科

今井 星来

天津外国語大学の授業はレベル別でクラス分けをします。学生は全員留学生で、一クラス10～30人くらいでした。基本的な授業以外に太極拳や書道なども履修できました。大学寮は基本的に2人部屋で、共同で使えるキッチンがあります。ルームメイトの希望は出せませんが、中国語で会話できるため外国人と住むのがおすすめです。1階のロビーには勉強できる場所があり、多くの外国人と交流することができます。食堂は種類が豊富でとても安いです。また図書館や体育館、運動場があり、体育館では週一回バドミントンが行われていました。

たった4か月でしたが、様々な体験をし、とても濃い時間を過ごすことが出来ました。

中国に行つてすぐは先生の言っていることが聞き取れず、辞書で調べながら授業を受け、言いたいことも伝えられないため、ルームメイトともまともに会話することが出来なかったです。しかし、どこに行つても中国語という環境の中で生活しているうちに慣れたのか、気が付くと先生やルームメイトと会話ができるようになっていました。外国人と一緒に受ける授業は新鮮で、彼らの熱心さや積極性に刺激を受けます。会話をしたいという気持ちから、留学前より、自ら勉強するようになっていました。留学の良いところは語学力の向上だけでなく、中国語を通して多くの外国人と友達になれるのは貴重な経験だと思います。国が違うだけで共通点もあるが、やはり考え方や習慣に相違点もあり、自分の考え方も広がりました。また、中国に対して良くないイメージを持つ人もいますが、実際に行つてみると、優しい人ばかりで、中国の良いところに気が付くことが出来ます。

中国語が飛び交う環境で生活できるのは留学に行つたからこそであり、勉強のモチベーションも上がります。語学以外にも様々な面で自分の成長につながる事があると思います。留学に行くかどうか迷っていたらぜひ行ってほしいです。





交換留学



 台湾
静宜大学

交流文化学部 交流文化学科

成田 侑加

2017年9月～2018年1月

大学2年の前期から中国語を学び始め、先生方や先輩のおかげで、中国語圏への交換留学に挑戦したいと考えました。台湾と日本は結び付きが深いと知り、「台湾の静宜大学へ留学したい!」と思いました。留学する前は、大学で学んだ簡体字ではなく繁体字で中国語を学ぶこと、台湾特有の訛りがあるのではないかとこの2点を心配していました。しかし、実際に学んでみると日本の漢字と似ている繁体字のほうが覚えやすく訛りも気にならなかったため、学習面での問題はありませんでした。学生寮はキャンパス内にあり、私は最上階の5階にある4人部屋で、台湾人の本科生1人と日本人の留学生2人と生活しました。初めは4人での共同生活に不安がありましたが、台湾人のルームメイトは日本語が全く分からなかったため、中国語と身振り手振りでコミュニケーションを取り合っていました。助け合いながら楽しく過ごした寮生活は私にとって良い思い出です。また、台湾の食べ物はどれも美味しく、留学で初めて台湾を訪れましたが、今では「もう一度行きたい!台湾大好き!!」というくらい大ファンになりました。

この留学で一番大切だと感じたのは、人との出会いです。留学したからこそ出会うことができた人たちが多くいます。日本に帰国した後も連絡を取り合うような友人にも出会うことができました。台湾留学を経験して得ることができたご縁を今後も大切にしていきます。台湾は親日だと言われますが、本当にそうだなと思うくらい、台湾の人たちは親切にしてくださいました。困っていたとき優しく手を差し伸べてくださった台湾の人たちに対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、台湾で約半年間生活するという貴重な機会を与えてくれ応援してくれた家族、全力でサポートしてくださった国際交流センターの方々や先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。





複数学位取得プログラム

2016年2月～2018年1月

 **中国**
天津外国語大学

交流文化学部 交流文化学科

渡瀬 幸音

この留学制度の最大の特徴は、現地の本科生と一緒に授業を受けられるという点です。圧倒的に本物の中国語に触れる機会が多いです。授業では「留学生だから」というハンディはなく、容赦なく怒涛の中国語が降りかかってくる。あきらめずに必死に喰らいついていく根性が必要です。しかし裏を返せば、根性さえあればなんの問題もありません。毎日授業に顔を出していると、自然に顔なじみも増え、授業の内容や宿題に関して、分からないながらもクラスメイトに支えられてなんとか単位を取得することができるようになりました。今では、帰国後も頻繁に連絡を取り合う大切な友人です。わたしは、自分の中国語のレベルを理由にこの留学制度への参加をあきらめるのは非常にもったいないことだと思います。不安だったときも大変だったときも、そばには手を差し伸べてくれるクラスメイトや先生、ルームメイトがいました。自分から進んで物事をはじめれば必ずそれを応援してくれる人がいます。積極的に問題解決に向けてアプローチをすれば必ず結果がってきます。自分の力を試したい、チャレンジしたいという人にとってこの留学制度は絶好のチャンスになります。この留学を大いに利用して、学生時代にしかできないことを多く経験してください。

就職活動に支障が出るのではと心配しているみなさん、就職活動と留学を天秤にかけないでほしいです。私は留学をしたことで結果的に同級生よりも1年遅れて既卒で就職活動を行いました。当時は不安もありましたが、留学中に参加したスピーチコンテストやチベット旅行についていきいきと語る姿が評価され、最後まで会社に選ばれるのではなく“選ぶ就活”をすることができました。重要なのは、周りとは足並みそろえることではなく、自分自身が望むか否かで判断することです。そして、今ある環境の中でベストを尽くすことです。必ず努力は報われます。





短期研修

2018年度「英語海外セミナーⅡ」


**カナダ
フレーザーバレー大学**

ビジネス学部 ビジネス学科

加藤 雅望

2018年8月8日～2018年9月2日

留学前の私はカナダについて、食べ物はメープルやサーモン、観光場所はナイアガラの滝やスタンレーパークしか知らなくて、カナダの気温や文化など全く知りませんでした。ですがこの留学後は日本との文化の違いや気温の違いはもちろんカナダ人の親切さ、生活習慣など1ヶ月という短い間でしたが多く学びました。印象的なのはカナダでの生活習慣の中で、洗濯を毎日する家庭は少ないことと、湯船に浸からずシャワーで済ませていることです。日本では当たり前のことがカナダでは習慣がないことだったので、国が違うだけでここまで変わるのだと感じました。

ホストファミリーは、とても信仰のあつい家庭で、食事の前には必ずお祈りの時間があります。また毎週日曜には教会へいくことが習慣でしたが、日本の家庭では家族で教会へ行くことはほとんどないので、どうしていいのかわからなかったけれど、宗教に触れる中で、毎日感謝の気持ちを持つべきであると感じました。普段感じることのできないことを1ヶ月の間で多く経験することができました。

学校生活では向こうの大学の学生や先生方は本当に親切で、困っていたり迷っていたりすると話しかけてくれて、解決するまで近くに来てくれます。また自然に触れることが多くて、今までハイキングやアクティブなことはほとんどしなかったので、自然に触れる楽しさやグループでの活動の大変さなど、語学以外にも学ぶことができました。留学前の自分は周りの目を気にしすぎてしまうことが多かったけれど、帰国後は自分に自信が持てるようになって、自分は自分なのだと言い聞かせ、あらゆることにチャレンジしようという気持ちが強く、意欲が高まった気がします。





短期研修

2018年度「韓国・朝鮮語海外セミナーⅠ（韓国）」

 韓国
梨花女子大学校

心理学部 心理学科

伊藤 美咲

2018年8月26日～2018年9月14日

私がこの研修に参加しようと決めた理由は三つありました。一つ目は語学力の向上です。これまで大学の授業と独学で勉強してきた語学を使って生活してみたいと思いました。そのため、梨花女子大学校の全て韓国語で行われる授業はとても充実したものでした。毎日韓国語を聞いているうちに耳が慣れてきたのか、日本にいる時よりも韓国語を聞き取ることができるようになりました。シャドーイングの授業では韓国ドラマを使ったシャドーイングを行いました。ドラマならではの早いセリフで発音が難しかったのですが、知っているドラマだったので楽しく学ぶことができました。今回の研修に参加したことで、日本で学んでいるよりも語学力の向上が見られたことが嬉しかったです。

二つ目の理由は一人暮らしを体験してみたかったということです。私はこれまで実家暮らしだったため、長期間家族と離れることがありませんでした。そのため、今回の研修は親に何かしてもらわずに生活をするいい機会だと思いました。研修中は自分のことは全て自分で行わなければなりません。自分で食事や洗濯をすることで、これまで恵まれた環境で生活していたということを実感しました。親への感謝の気持ちを持つことができましたし、社会人になった時の一人暮らしを想像することができたのでいい経験になったと思います。

三つ目の理由は友達を作りたいということでした。韓国人の友達を作りたいという思いがあったのですが、トウミ制度により梨花女子大学校の学生と交流することができました。一緒にご飯を食べに行ったり、現地の人しか知らないような、夜景が綺麗な公園を教えてくださいました。分からない単語は一緒に調べてくれるし、日本語を覚えてきてくれたりもしました。「今度韓国に来た時にはまた連絡して!」と言ってくれたのはすごく嬉しかったです。

今回の研修は私にとって多に充実した意味のあるものになりました。1年前からずっと参加するか迷っていたのですが、今では参加してよかったと心から思います。





短期研修

2017年度「英語海外セミナーⅢ」

オーストラリア
CQ 大学

心理学部 心理学科

津田 早織

2018年2月10日～2018年3月10日

オーストラリアは景色がとても良かったです。野鳥は黒や灰色などではなくカラフルで、清掃は行き届いていて緑豊かな街であり、外を散歩するだけで楽しめました。

授業では、アクセントや音節を意識した発音練習、オーストラリアの文化、生き物などを学びました。最初は先生の英語が聞き取れず戸惑いましたが、一週間もすれば慣れていきました。授業内容のレベルとしては簡単だったので、英語が苦手な私でも大丈夫でした。

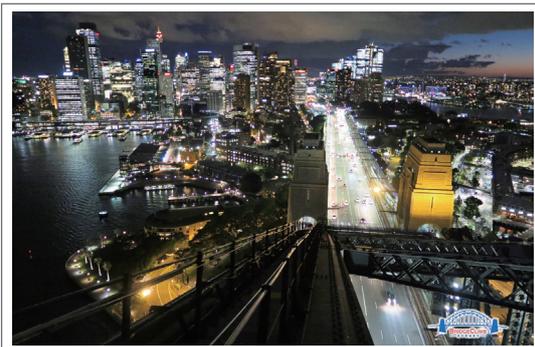
机に向かう授業だけでなく、動物園に行ったり、先住民族について体験しながら学んだり、多くのアクティビティを用意してくれていて、楽しかったです。

ホームステイ先では、私は毎晩夕飯の手伝いをしました。それにより、オーストラリアの家庭料理を直に学ぶことができました。晩御飯の時間になったら、「何か手伝えることある？」と言聞いてみるといいと思います。

シドニー観光で楽しかったのは、ハーバーブリッジクライムです。高いところからオペラハウスなどのシドニーの夜景を美しい景色を見ることができ、忘れられない思い出となりました。高いところが平気な方はぜひ行ってみてください。

最後に、留学は多くの貴重な体験ができる良い機会なので、その思い出を忘れないように毎日日記を書く

いいと思います。私はスマホに日記アプリを入れ、毎日学んだこと、嬉しかったこと、失敗したことなどを、その日撮った写真と一緒に保存しました。これを行うことにより、思い出を忘れないとともに就活の面接練習などで詳しく留学体験について話すことができると思います。





短期研修

2017年度「米国NPOインターンシッププログラム」

アメリカ
ワシントン D.C.

2018年2月9日～2018年3月11日

文学部 教育学科

駒田 健人

私は1ヶ月の間、アメリカのワシントン D.C. の小学校にてインターンシップを行いました。アメリカに行くまでの半年間、週に1度ミーティングを行い、日本とアメリカの文化や社会問題を学んだ上でアメリカへ向かいました。

私の留学に行く目的は英語力向上は勿論でしたが、日本とアメリカの学校での教育システムや教育方法の違いを学ぶことが要となっていました。

ワシントン D.C. の小学校では1年生のクラスに配属され、授業の進行の手伝いや子ども達のサポートすることが私の仕事でした。週に1度日本の文化を紹介する時間を作っていただき、折り紙や日本語の挨拶、日本地図のお絵かきなどを行い、日本文化を紹介することが出来ました。特に折り紙は子ども達がとても喜んでくれて、やりがいを感じる事が出来ました。

1か月という短い期間の留学だったので、どんな時間も無駄にたくないという想いから、毎日どこかへ冒険するという目標を立てて行動しました。ホームステイ先の方にもその旨を話すと、嫌がるどころかむしろ背中を押してくれて、心置きなく様々な場所へ行くことが出来ました。休日はもちろん、平日も仕事が終わったら様々な場所へ冒険しに行きました。特に何度も通ったカフェでは、日記を書いたりおすすめメニューを頼んだりしているうちにオーナーに覚えられたり、地元民と仲良くなったりすることができ、とても良い経験になりました。そして毎晩その日行った場所、出会った人、あったことをホストファミリーと話すことが毎日の楽しみでもありました。

私は今回の留学を通して、多くの価値観や生き方に触れることが出来ました。そのひとつひとつの出会いが自分の人生の視野を広げる事へと繋がり、計画を実行することの出来る行動力や積極性、そして何より人を尊敬して互いに尊重し合うことの大切さを学び、成長させる事が出来ました。

最後に、この留学への後押しをしてくれた両親、留学生活を支えてくれた先生と仲間達、そしてホストファミリーと担当の先生、全ての人に感謝を贈ります。

本当にありがとうございました。





短期研修

2017年度「中国語海外セミナーⅠ（中国）」

中国
南京師範大学

2018年2月25日～2018年3月19日

交流文化学部 交流文化学科

三輪 雛子

私は約三週間という短い期間ですが、南京師範大学の語学研修に参加しました。

現地での生活は、驚きと発見の連続でした。一年間少しずつ勉強していた中国語は全く通じず、発音が悪すぎて、何回か言い直さなければならないといったことも多くありました。

これは何とかしなくてはと思い、もともと好奇心が強い私は、授業後や休日には、探検がてら必ずどこかへ出かけ、お店の人に道を聞いたり、値切ったりなど積極的に話すことを心掛けました。

また授業では日本人のほかに、韓国、シンガポール、インドネシアなど様々な国籍の人と一緒に学ぶことができ、とても貴重な経験をする事ができました。みんな中国語のレベルが同じくらいだったので、励まし合いながら学べたのがよかったと思います。私が言いたいことにも真剣に耳を傾け、理解しようとしてくれるのが分かり、とっても嬉しかったです。

中日交流会では、現地の日本語学部の学生と交流しました。そこで出会った友達には、南京の街を案内してもらったり、おすすめスポットを教えてもらったりしました。日本のアニメやドラマの話で盛り上がり、今でも連絡を取り合うくらい仲良しです。

私は今回の研修を通して、今の自分の語学力を実感するとともに、現地の人々の温かさや、外国人と一緒に言語を学ぶことの楽しさを肌で体感しました。そしてこの経験が交換留学にチャレンジする大きな原動力となりました。

留学してみたいけど、知らない土地での生活は不安、長い期間家を離れる勇気がまだない、といった学生には、短期間で多くの経験ができるのでぜひ参加してほしいです！





長期海外履修制度



中国 北京語言大学
長期海外セミナー（前期）

2017年2月～2017年6月

交流文化学部 交流文化学科
織田 優佳

北京語言大学での留学は「学び」をくれた留学でした。HSK6級取得はもちろんですが、国際交流や日中友好団体の運営やイベントの企画などの社会活動にも積極的に加わったことで、さまざまな人種、立場の人と出会い、今まで知らなかった世界を知ることができ、人間的にも成長できたと感じています。「無知とは恥ずかしいこと」ということを実感し、留学終了後の勉強に対する意欲も上がりました。行ってよかったと心から思う留学でした。



海外フィールドスタディ



フィンランド・デンマーク
人間情報学部専門科目「海外フィールドスタディ」
北欧の街でデザイン、図書館サービス、IT産業を学ぶ

2018年8月30日～2018年9月5日

人間情報学部 人間情報学科
筒井 祐季

海外研修に参加するにあたり最も不安だったことは英語力でした。実際に現地の学生と英語で交流する機会があり、やはり英語力の不足を実感しました。しかしながら、「会話したい」「聞いてみたい」という意志があればコミュニケーションが取れるということが分かりました。現地の学生に、英語をどのように学んだかも伺うことができました。

研修プログラムでは、図書館、IT企業、デザインセンター、福祉施設等を訪れました。訪問時だけでなく移動中にも色々な発見がありました。街の構造や組織の考え方を知ることができ、社会の傾向から動植物に至るまでも日本とは異なっていて新鮮で興味を惹かれました。例えば、「会社の建築を考える過程で、構造のひとつひとつに意味を持たせながら、シンプルにかつセンスよく楽しく毎日をご過せるような工夫」「図書館の統廃合の中で変化する組織のシステム」「社会のキャッシュレス化の進行や郵便物の扱い」等、北欧の情報をリアルタイムに直接耳や目にする機会が得られたことは貴重な経験でした。研修自体のバックアップや現地での様々な体験のフォローまでが手厚くしっかりしているため、自分は初めての海外渡航でしたが安心して参加することができました。集団での行動が基本ですが、買い物や食事などの一人では緊張する場面でも冒険するように楽しくとても多くの体験ができました。研修で学んだことを日常の端々で意識することから、考え方の幅を広げることに活かしたいです。



海外研修



中国 北京語言大学
中国語海外研修

2018年8月8日～2018年9月6日

交流文化学部 交流文化学科

河合 里虹



2018年8月、私は北京語言大学の研修に参加しました。1カ月という短い間でしたが、やり残したことはないと言いきれるほど充実した毎日を送ることができました。日本で勉強しているだけでは身につけることが難しい中国の生活習慣も直接体験し、分からないことがあったらすぐ調べることで語彙力も向上しました。“百聞は一見に如かず”ということわざがありますが、まさにその通りだと思います。実際に中国へ行き、視野を広げることができ、貴重な経験になりました。また機会があれば、中国へ留学に行きたいです。

Study Abroad



アメリカ カリフォルニア州
サン・ディエゴ州立大学

2018年6月24日～2018年8月4日

グローバル・コミュニケーション学部

今藤 綾菜



私は、学部のプログラムで、2年生の6月からサン・ディエゴ州立大学に42日間留学に行きました。特に印象に残っているオーラルの授業ではフレンドリーな先生やクラスメイトのおかげで、楽しくコミュニケーションをとることができました。ホームステイでは、生活習慣の違いだけでなく、宗教に対する意識の違いを実際に体験することで理解を深めることができました。短期間の留学でしたが、短期間だったからこそ毎日が充実していて有意義な留学生活を送ることができたと思います。



2. 留学に向けて準備をしよう

Ⅵ. 留学準備

「留学をしよう」と思い立ったら、まずどのようなことから準備を始めるべきかを自分の中でよく整理してから取り組んでください。留学するまでには、かなりの期間にわたる準備が必要です。特に学内の留学制度を利用するためには、語学能力だけでなく学業成績も関わっていますので、日頃からの努力の積み重ねが重要です。用意周到に準備を進めましょう。

留学計画セルフチェック

留学をするためには自主性が不可欠です。大学に入ったら留学をしたい、外国語が話せるようになりたい、自分が専攻している分野を海外で勉強してみたいなど、様々な思いで留学を希望していると思いますが、漠然とした夢だけでは留学は実現しません。まず、自分が何のために留学するのかをもう一度見つめなおし、留学を実現するためのプロセスを考えて自分に合った留学計画を立てましょう。

① 留学する目的をしっかりと持っていますか？

「何のために留学したいのか」「どんな目標を持って留学に臨むのか」を今一度考えてみてください。「とりあえず留学してみたい」「留学すれば外国語ができるようになるかな」など曖昧で他力本願な動機で留学プログラムに応募しても、結局「お金とエネルギーの無駄遣い」に終わりがちです。留学の目的を事前に様々な角度から考えてみましょう。このプロセスにきちんと取り組むことで、より具体的な留学の目的を設定でき、留学中もぶれることなく明確な成果を得ることができます。国際交流センターで行っている「留学相談」で個別相談ができるので活用してください。

② 家族とのコミュニケーションはとれていますか？

留学を応援してくれる家族のみなさんの理解を得ておくことはとても重要なことです。なぜ留学をめざしているのか、どの国にどのようなプログラムで留学をしたいのかという意思を伝え、理解を得ておきましょう。多くの人は参加費用の負担を家族に協力してもらおうかと思えます。事前にどのくらいの経費が必要になるかということもしっかり伝えましょう。留学に向けての準備段階や、留学中のあらゆる情報を家族と共有し、家族に無用な心配をかけないようにすることも大切です。

③ 留学資金は確保していますか？

留学に向けての準備の第一歩として、経費を計算してみましょう。予想よりも多くの費用がかかるかもしれませんし、自分が予想もしていなかった支出があるかもしれません。国際交流センターの「留学相談」を活用したり、国際交流プラザに配架してある「帰国報告書」を元に明確にしておきましょう。

④ 帰国後、留学で得た能力をどう伸ばし、活かしますか？

帰国すれば留学は終わるというものではありません。留学での経験を学生生活や将来にどのように活かすのか、次のステージに向けて振り返ることで留学経験はよりいっそう意義のあるものとなります。留学を目指す後輩たちに自分の経験を伝えるなどの機会に積極的に参加するのも良いでしょう。

⑤ 将来のキャリアプランは描けていますか？

留学計画を立てるときに、キャリア・プランニングもしっかり立てましょう。留学前、そして留学中も自分のキャリアについて意識し、進路の方向性を考えたり、自己分析・業界研究などを行いましょう。留学中に就職活動をする場合、インターネットを使ってどこまで就職活動ができるのか、業界ごとの採用スケジュールなども把握しておくとういでしょう。キャリアセンターを積極的に利用しましょう。

セルフチェックを見直してみよう

セルフチェックに記入ができたなら自分の回答を見直してみよう。すべての事項にもれなく記入できましたか？一言に留学と言っても様々な形態があります。その中から自分に合った留学方法を見つけ出すためには情報収集が不可欠です。セルフチェックで記入に迷った事項があった人は、自分の思い描く留学をもう少し具体化できるように努力してみよう。



情報収集

どのような留学スタイルを選ぶにしても、情報収集は時間をかけて行いましょう。学内の留学制度を利用する場合は、国際交流センターにある過去の留学生の帰国報告書や交流協定校のパンフレット、ホームページなどが参考になります。私費留学で、何から始めてよいかわからないのであれば、インターネットで検索したり、留学関連の本や雑誌を読むことから始めましょう。次に、自分が希望している留学先、留学期間、語学力、費用などの条件に優先順位をつけて情報を集め絞り込んでみましょう。留学斡旋業者を利用する場合も同様に、できる限りの情報を集めた上で、実際に足を運んで相談を受けるようにしてください。(留学斡旋業者の利用については P.21 も参考にしてください)

■情報収集に役立つサイト

独立行政法人 日本学生支援機構	http://ryugaku.jasso.go.jp
一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会	http://www.jawhm.or.jp
Education USA アドバイジングセンター	https://jp.usembassy.gov/ja/education-culture-ja/study-usa-ja/advising-ja/
在日カナダ大使館「カナダ留学」	http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/study-etudie/index.aspx?lang=jpn
Study in Canada	https://www.canada.ca/en/immigration-refugees-citizenship/services/study-canada.html
ブリティッシュ・カウンシル	http://www.britishcouncil.jp
Study in Austria	http://www.studyinaustria.at/
DAAD Japan Study in Germany	https://www.daad.jp/ja/ https://www.study-in.de/en/
Study in the Czech Republic	https://www.studyin.cz/
Study in Belgium	http://www.studyinbelgium.be/en
Study in Sweden	https://studyinsweden.se/
Study in Finland	https://www.studyinfinland.fi/
Study in Spain	http://www.studying-in-spain.com/
Study in Hong Kong	http://www.studyinhongkong.edu.hk/jp/
中華人民共和国駐日本国大使館「中国留学」	http://www.china-embassy.or.jp/jpn/jyylxsl/zglx/
Study in Taiwan	https://www.studyintaiwan.org
Study in Australia	https://studyinaustralia.gov.au/japanese
Study in Korea	http://studyinkorea.go.kr/ja/main.do

学業成績

本学の留学制度に基づく交換留学に出願する際には GPA (通算) 2.3 ~ 3.0 以上が必要です (各留学先大学によって異なる)。また、私費留学の場合でも、学部留学や編入、大学院への進学をする場合は学業成績が入学選考の一つの基準となります。学業成績は日々の積み重ねですので、すぐに改善することは困難です。例えば、交換留学に申し込みたいけれど、GPA が足りないという場合は、あきらめるしかありません。そのような事態が起こらないように日頃から真剣な気持ちで学業に取り組んでください。愛知淑徳大学の GPA 算出方法については履修要覧を参照してください。

語学学習に役立つ授業

語学試験対策、語学力向上を目指すために開設されている授業には下記の科目があります。

●国際交流センター開設科目

TOEFL iBT トレーニング I (Speaking & Writing)

TOEFL iBT トレーニング II (Listening & Reading)

英語圏の大学へ交換留学するのに必要な TOEFL のスコアアップを図ります。

TOEFL iBT トレーニング I では iBT のスピーキングとライティング問題攻略に取り組み、TOEFL iBT トレーニング II では iBT 対策に必要な土台作りにはフォーカスを当て、E ラーニングとの併用で、Listening 力と Reading 力を養うための効果的な学習法の習得を目指します。授業は TOEFL に造詣が深く、専門のトレーニングを受けた教員が担当します。

●全学共通教育 言語活用科目 (英語、中国語、韓国・朝鮮語、初めての外国語)

詳しくは全学共通履修科目のシラバスをご確認ください。



留学資金

留学にはお金がかかります。留学形態によりその費用も異なりますので、どのくらいの費用が必要になるのかは早い段階から見積もっておいてください。学内の留学制度（単位修得留学と短期研修を除く）を利用して留学する場合は、所定の学納金を愛知淑徳大学に納入することで、留学先の授業料が免除となりますが、現地での生活費やその他の費用は自己負担です。なお、休学する場合は、本学に学納金に代わり、「在籍料」を納入することになります（詳細については経理事務室または管理事務室に確認してください）。留学する国やプログラムなどによって異なりますが、英語圏の場合休学をして1年間語学留学する場合に必要なおおよその費用は200万円～300万円です。詳しくは、P.49の「留学Q & A」を参考にして下さい。

語学学習

留学する上でまず必要となるのが語学力です。留学を決心したその日から、いっそうの語学学習に取り組み、留学までに語学力をできる限り高めて出発するようにしましょう。留学を充実した経験にできるかどうかは自分次第です。スタートラインを高く設定すれば、留学中に得られるものも多いはず。学内で実施している各種語学試験を積極的に受験してください。外国語を習得するのに近道はありません。日々の地道な努力の積み重ねが重要です。あきらめずに取り組みましょう。

語学試験

愛知淑徳大学では英語、中国語、韓国・朝鮮語の語学テストを毎年無料で受験できる機会を設けています。これらのテストを定期的に受験することは、自分の語学レベルを確認できるだけでなく、日々の勉強に対するモチベーションを維持する上でも非常に効果的です。積極的に受験するようにしましょう。また、留学形態によっては出願時にこれらの語学テストにおいて一定以上のスコアを条件としたり、スコア提示を求められたりすることがあります。そのため、出願時までにはその目標を達成できるように、早い段階で準備することが必要です。

各種語学試験の実施

2019年度学内語学試験スケジュール

※スケジュールは変更になることがありますので、必ず CampusSquare または国際交流センター掲示板で確認してください。

● TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) IP テスト

年2回無料試験を受験することができます。(新1年生は年3回)

実施月	費用	対象
3月	無料	新1年生
8月	無料	全学部・大学院生
1月	無料	全学部・大学院生

● TOEIC® Speaking & Writing Tests (TOEIC® S&W) IP テスト

年2回無料試験を受験することができます。ただし、条件があります。詳細は募集要項で確認してください。

実施月	費用	対象
8月	無料	全学部・大学院生
1月	無料	全学部・大学院生

● HSK

年1回筆記試験のみ無料で受験できます。ただし、指定科目の履修が条件となります。詳細は募集要項で確認してください。

実施月	費用	対象
12月	無料	全学部・大学院生

● 韓国語能力試験

年1回無料で受験できます。ただし、指定科目の履修が条件となります。また、試験会場は運営団体が指定する会場(学外)となります。詳細は募集要項で確認してください。

実施月	費用	対象
10月	無料	全学部・大学院生



奨学金について

■特別給付奨学金4：交換留学生支援（渡航支援） 交換留学生支援（留学支援）

交換留学生（複数学位取得留学生を含む）として、海外の協定校に留学をする学生を対象とした奨学金です。

1) 交換留学生支援（渡航支援）

対象者	交換留学生としての認定を受けて海外の交流協定校に1学期または1年留学する者。
給付額	5万円
採用人数	交換留学生全員

2) 交換留学生支援（留学支援）

対象者	交換留学試験等の優秀者で交換留学生としての認定を受けて海外の交流協定校に1学期または1年留学する者。
給付額	甲地域留学：1年30万円 1学期15万円 乙地域留学：1年20万円 1学期10万円 丙地域留学：1年10万円 1学期 5万円 ※甲乙丙の区分は日本学生支援機構・海外留学支援制度の区分設定に準ずる
採用人数	若干名

※交換留学生支援（留学支援）地域区分

甲	アメリカ合衆国、カナダ オーストリア、ベルギー、ドイツ、アイルランド、スウェーデン、英国
乙	大韓民国、オーストラリア、チェコ、香港
丙	中国、台湾

最新の国・地域コード表は独立行政法人日本学生支援機構のホームページでも確認できます。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/haken/

■日本学生支援機構奨学金貸与者への注意事項

日本学生支援機構奨学金の貸与者が、休学して留学する場合、休学中の奨学金は「休止」となります。交換留学や単位修得留学の制度を利用して、休学せずに留学する場合は、留学中も奨学金貸与を継続することができます。

いずれの場合も手続が必要となりますので、学生事務室または教学事務室にお問い合わせください。

【休学して留学する場合】

「異動願（届）」を提出し、「休止」の手続をしてください。

【休学せずに留学する場合】

「留学奨学金継続願」を提出することによって、奨学金貸与を継続できます。

※「留学時特別増額貸与奨学金」を希望する場合、第二種奨学金貸与者は「第二種奨学金（短期留学）」への切り替えが必要になります。留学開始月の約7ヶ月前が締め切りとなりますので、注意してください。

〈2019年度「第二種奨学金（短期留学）」申込期間等〉

	募集対象学生の留学開始月	学内申込み期間（JASSO入力期間）	採用候補者決定時期
第1回目	2019年4月～2019年7月	2018年12月14日～2019年1月24日	2019年2月下旬
第2回目	2019年8月～2019年11月	2019年4月1日～2019年5月23日	2019年6月下旬
第3回目	2019年12月～2020年3月	2019年8月1日～2019年9月24日	2019年10月下旬

■その他の奨学金については

CampusSquareにてお知らせしますのでご確認下さい。



Ⅶ. その他

留学 Q&A

留学に関して、よく寄せられる質問をまとめましたので、参考にしてください。ここに記載されていないことに関しては直接国際交流センターに問い合わせるか、留学相談で担当スタッフに尋ねてください。

Q.

交換留学には何回でも出願できますか？

A.

愛知淑徳大学の留学生派遣規程では、「留学は2年を超えない範囲」と定められており、「交換留学」「単位修得留学」「長期海外履修制度」はそれぞれ1年以内、「複数学位取得プログラム」は2年間のプログラムとなっています。留学期間が2年を超えない範囲であれば、各留学を組み合わせることは可能です。(例：1年次に半年～1年間の「単位修得留学」or「長期海外履修制度」、3年次に1年間の「交換留学」の組み合わせ)

Q.

**交換留学には1年生でも出願できますか？
また、4年生についてはどうですか？**

A.

1年生であっても出願資格を満たしていれば出願できます。ただし、冬季派遣に出願する場合、出願時点では成績が出ていないため、GPAが算出できませんので、願書のGPA記入欄は未記入のまま出願してください。学内選考試験は6月下旬ごろに行われ、合格の場合は「条件付合格」となります。9月に前期の成績通知書を提出してもらいますので、この時点でGPA(通算)の条件を満たせば正式に合格となり、条件を満たない場合は合格取消しとなります。

また、4年生については、愛知淑徳大学留学生派遣規程第7条に、交換留学は「修業年限内とする」と定められています。本学の学則では学部の修業年限は4年ですので、4年次での出願は原則認められません。

Q.

交換留学では、留学先で修得した単位を本学の単位として読替えができるということですが、どのような科目を履修しても読替えは可能ですか？

A.

留学先で修得した単位の読み替えについては所属学部・研究科が決定します。そのため留学前に各自で所属先の指導教員に相談し、単位を認定してもらうためには現地でのどのような科目を履修する必要があるのかを確認し、帰国後の履修計画を立ててから出発しなければなりません。通常、留学先で修得した単位を所属先の専門科目として認定を受けるためには、その科目が所属学部・研究科において提供されている科目に相当すると認められることが前提となります。単位認定の手続きには留学期間終了後1か月以内に、留学先大学が発行した成績証明書(原本)、授業概要(course syllabus)など授業時間数、内容がわかるもの、大学要覧(学年暦がわかるもの)、その他参考資料に加え、本学所定の「単位認定申請書」と「履修科目報告書」を提出してください。



Q.

留学にはどのぐらいの費用がかかりますか？

A.

留学の期間、留学先の国、留学の形態などによってかかる費用も異なりますので、各自慎重に試算することが大切です。おおまかな目安として、次の表を参考にしてください。交換留学の場合は、過去の学生たちが作成した「帰国報告書」が国際交流プラザに保管してありますので、その中の「生活編」の箇所を参考にすると、より具体的に費用の把握ができるかもしれません。ただし、個人差がありますので注意してください。

留学形態	欧米		アジア	
	自己負担	大学負担	自己負担	大学負担
交換留学	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 5～15万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	留学先大学授業料	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 3～9万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	留学先大学授業料
複数学位取得プログラム			<ul style="list-style-type: none"> 生活費 4～5万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	留学先大学授業料
単位修得留学	<ul style="list-style-type: none"> 生活費及び留学先大学授業料 20～30万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	—	<ul style="list-style-type: none"> 生活費及び留学先大学授業料 6～14万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	—
短期研修	<ul style="list-style-type: none"> 50～60万円（渡航費、保険料、生活費等含む） 	—	<ul style="list-style-type: none"> 20～30万円（渡航費、保険料、生活費等含む） 	—
長期海外履修制度	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 8～11万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	留学先大学授業料	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 3～9万円/月 本学授業料、教育充実費 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費、寮代等 	留学先大学授業料
私費留学	<ul style="list-style-type: none"> 生活費及び留学先授業料 15～30万円/月 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費等 本学在籍料 	—	<ul style="list-style-type: none"> 生活費及び留学先授業料 15～20万円/月 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費等 本学在籍料 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 8～11万円/月 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費等 本学在籍料 語学学校等に通う場合はその授業料 	—	<ul style="list-style-type: none"> 生活費 3～9万円/月 渡航費、保険料、ビザ取得費用及びそれに関わる諸経費等 本学在籍料 語学学校等に通う場合はその授業料 	—

※記載されている金額はあくまで目安です。国や地域、時期によって異なります。国際交流センターにある過去の留学生の帰国報告書や、留学情報誌などを活用して新しい情報を入手するようにしてください。

※交換留学、複数学位取得プログラム、長期海外履修制度については、本学での授業料を納入する代わりに、留学先での授業料は免除となります。

Q.

個人で留学をするために休学することはできますか？ また、休学中の学費はどのようになりますか？

A.

語学留学等の理由で本学を休学することはできますが、休学期間は卒業に必要な在学年数に算入しないため、休学した期間分、卒業は延びます。休学期間中は学納金（授業料及び教育充実費）を納める必要はありませんが、「在籍料」を納入しなければなりません。詳細については、経理事務室または管理事務室に確認してください。



Q.

教職課程をとっているのですが、留学はできますか？

A.

教職、司書、学芸員などの資格科目を履修しており、資格取得を考えている場合は、留学前に今後の履修計画等について必ず教務事務室 / 教学事務室に相談してください。

Q.

留学するのはいつが良いのでしょうか？

A.

留学する理想の時期というのはありません。各自の留学目的に応じて時期を選択することから留学準備が始まると考えてください。なぜその時期に留学したいのか、ということを考える中で、留学目的をより具体化できるはずです。留学経験を就職に活かしたいと考えている人にとって、このことを明確にしておくことは大切です。交換留学の場合は、募集時期が留学に出発する半年以上前になりますので、それまでに出願条件を満たせるようにあらかじめ計画を立てて準備を進めてください。

Q.

就職活動の時期に留学をすると、就職活動ができなくなりますが、どうしたらよいですか？

A.

休学をせずに留学する場合、留学時期・期間によっては就職活動の時期と重なることがあります。両方を同時に進めることはできませんので、どちらを優先するかは、各自判断することになります。後悔しないためにも、帰国後のことまでよく考えて留学計画を立てることが重要です。キャリアセンターに相談するのも良いでしょう。

Q.

海外へ留学するのは初めてで、現地での生活が不安です。どのような点に気をつければよいですか？

A.

まず、出発までに日本でできるだけ準備を整えておくことが大切です。留学先の情報を可能な限り集めましょう。また、留学期間に関わらず、海外旅行保険や留学生保険に加入することは必須です。現地での生活においては犯罪に巻き込まれないよう普段から気をつけることが大切です。たとえ大学や語学学校のキャンパス内であっても、盗難には十分に注意し、貴重品の管理はしっかり行うようにしてください。

本学では、春休み前・夏休み前に「海外危機管理セミナー」を実施しています。国際交流センターが実施している各種留学・研修に参加する学生は必ず受講しなければなりません。[各学部提供 短期研修]、「長期海外履修制度」による留学プログラム、「私費留学」する学生や、海外旅行に出かける学生も受講できます。積極的に受講し、各自で情報収集につとめてください。

また、留学先の言語で意思疎通ができることは、トラブルに遭った場合でも非常に有利です。普段から語学力の向上に励みましょう。その他注意すべき点については、外務省の海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/> が参考になります。『海外安全 虎の巻』などのハンドブックをダウンロードすることもできます。



国際交流センターの紹介

国際交流センターでは留学・国際交流に関する様々なサポートをしています。

海外留学を目指す学生の支援・情報提供

留学相談

国際交流センターでは交換留学や短期研修など学内の留学制度に関して、担当スタッフに1対1で相談できますので気軽に相談に来てください。6か月をこえる期間の留学を考えている場合、1年前から準備を進めていることが理想的です。また、自分なりに情報収集をしてから相談に臨むとより効果的です。相談は予約制です。希望者は国際交流センターホームページ内の留学相談のページから予約をしてください。

国際交流プラザ

国際交流センターと同じフロアにあり、留学や語学学習に関する書籍や資料を数多く揃えています。情報収集に活用してください。過去の交換留学生在が作成した帰国報告書や貸出用図書もプラザに保管しています。



国際交流プラザ（星が丘キャンパス）

International News Exchange（ニュースレター）

国際交流センターでは毎年、4月と11月にニュースレター「International News Exchange」を発行しています。学内で行われている国際交流関連イベントの紹介や、交換留学生・短期研修参加学生の体験談や本学で実施されている外国語試験や語学教育プログラムの情報を掲載しています。「International News Exchange」は国際交流センターで配布しているほか、国際交流センターホームページ上で最新号およびバックナンバーの閲覧が可能です。

語学学習サポート

語学自習室

語学自習室は自習専用教室として、言語活用科目の授業でも使っている ALC NetAcademy（英語）や中国語メディア教材が利用できます。また、音読練習専用ブースもあり、ソフトレコーダーでのスピーキング練習など、コンピュータを使って語学学習ができます。

Global Lounge（グローバルラウンジ）http://www.aasa.ac.jp/institution/gobal_lounge/index.html

Global Lounge は、学生が気軽に外国語を使い、学べる場所です。Global Lounge では日本語が禁止されており、英語をはじめ外国語を学ぶ環境が整っています。外国語が得意な人も苦手な人も気軽に足を運んでください。



海外での安全と危機管理

■留学に必要な公的手続き

必須の公的手続き

◎在留届・外国人登録

海外に3か月以上滞在する場合は、住所が決まり次第、日本大使館か総領事館に在留届を提出することが法律で義務付けられています。この手続きは必ず行ってください。届けを出すことによって、災害やトラブルに巻き込まれた場合でも、外務省が素早く対処してくれます。在留届の用紙は日本国内では各都道府県旅券窓口、海外では最寄りの日本大使館か総領事館で入手できます。遠隔地へは郵送もしてくれます。また、外務省のホームページからもダウンロードできます (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)。なお、提出は郵送、ファックスのどちらでも可能です。

◎外務省「たびレジ」への登録

出発前に「たびレジ」に登録してください。登録をすると、渡航先で災害や緊急事態が起こった際に在外公館配信の「緊急一斉通報」や「最新渡航情報メール」を受信できます。詳細や登録については下記 URL をご参照ください。なお、3ヶ月以上留学する方は、別途「在留届」の提出も必要です。

たびレジ：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

◎パスポートと学生ビザ

自分の住民票のある都道府県の旅券課に申請してください。取得済みの場合は、必ず残存期間が留学予定期間以上あるかどうかを確認してください。また、留学する国と期間によっては、学生ビザも必要となりますので必ず申請をしてください。

■留学中の危機管理

安全で充実した留学生活を送るためには、各自の危機管理が必要です。留学先国、地域の気候、治安や社会情勢などについて、出発前に入念に調べ、万が一、思わぬ危険に遭遇した場合の対応の方法や対策などを確認しておくことが重要です。以下のポイントに注意をし、事前準備を進めてください。

☆国際交流センターでは、年2回（春休み前・夏休み前）、全学生が参加できる「海外危機管理セミナー」を開催しています。海外で、「どのような点に注意すればいいのか」、「万が一事故に巻き込まれたらどのように対処するのか」等、専門講師がレクチャーしてくれますので、ぜひ活用してください。詳細は、国際交流センターホームページや掲示板、および CampusSquare にて案内しますので、確認してください。

治安と安全対策

◎防犯対策〈人ごみでは盗難に注意！〉

海外で日本人が最も被害に遭いやすいのは、強盗や盗難、スリ、置き引き、詐欺とされています。人ごみではもちろんのこと、たとえキャンパス内や滞在中の寮などでも十分に注意をしてください。また、地域によっては道を一本隔てると、危険地域に入ってしまうところもあります。危険地域をしっかりと把握し、近寄らないように心がけてください。

◎麻薬・ドラッグ〈断る勇気を！〉

麻薬の使用は留学生に意外に多く、軽い気持ちで誘いに乗ってしまうことがあるようです。最近は錠剤やカプセルで飲めば幻覚作用や興奮作用のある薬も増加し、とても危険です。充分注意をし、誘われてもきっぱりと断る勇気を持ってください。

◎被害に遭ったら〈無駄な抵抗はしない！〉

留学先で、強盗の被害にあうことがあるかもしれません。ナイフや銃を突きつけられたら、すべてのものを速やかに差し出すのが賢明です。ただし、胸ポケットに財布がある場合などは、決して自分で取り出さずに相手に取らせてください。自分で取ろうとすれば銃を持っていると思われ、銃撃される可能性もあるからです。

◎緊急時に備えて連絡体制を明確に！

大学への連絡は国際交流センターが窓口となります。個人留学の場合も、留学届等に連絡先(留学先の住所・電話番号・e-mail アドレス)を必ず明記しておいてください(次項「緊急連絡先」参照)。



本学の緊急連絡先

時間内		時間外	
授業日、授業日以外の平日（9:00～17:00）		授業日、授業日以外の平日（17:00以降） 土日祝日、夏季休業期間（8月12日～17日） 冬季休業期間（12月29日～1月3日）	
海外での活動	国内での活動	海外での活動	国内での活動
<ul style="list-style-type: none"> 国際交流センター 052-783-1590（直通） 052-781-1151（代表） センター長 内線 745 室長 内線 747 	<ul style="list-style-type: none"> 学生部 0561-62-4111（代表） 学生部長 内線 2230 	<ul style="list-style-type: none"> 大学（守衛室） 0561-62-4111（代表） 国際交流センターのセンター長/ 室長までご連絡ください。* 	<ul style="list-style-type: none"> 大学（守衛室） 0561-62-4111（代表） 学生部の学生部長まで ご連絡ください。

*連絡先等の詳細については、プログラムごとに参加者へ周知しています。

海外における緊急連絡先

アメリカ	在米国日本国大使館	http://www.us.emb-japan.go.jp/
カナダ	在カナダ日本国大使館	http://www.ca.emb-japan.go.jp/
イギリス	在英国日本国大使館	http://www.uk.emb-japan.go.jp/
オーストリア	在オーストリア 日本国大使館	http://www.at.emb-japan.go.jp/
ドイツ	在ドイツ日本国大使館	http://www.de.emb-japan.go.jp/
チェコ	在チェコ共和国 日本国大使館	http://www.cz.emb-japan.go.jp/
ベルギー	在ベルギー日本国大使館	http://www.be.emb-japan.go.jp/
スウェーデン	在スウェーデン日本国大使館	http://www.se.emb-japan.go.jp/
フィンランド	在フィンランド日本国大使館	http://www.fi.emb-japan.go.jp/
スペイン	在スペイン日本国大使館	http://www.es.emb-japan.go.jp/
アイルランド	在アイルランド日本国大使館	http://www.ie.emb-japan.go.jp/
中国	在中国日本国大使館	http://www.cn.emb-japan.go.jp/
台湾	財団法人交流協会 駐台湾事務所 ■台北事務所 ■高雄事務所	https://www.koryu.or.jp/ https://www.koryu.or.jp/taipei/ez3_contents.nsf/Top https://www.koryu.or.jp/kaohsiung/ez3_contents.nsf/Top
香港	在香港日本国総領事館	http://www.hk.emb-japan.go.jp/
オーストラリア	在オーストラリア 日本国大使館	http://www.au.emb-japan.go.jp/
韓国	在大韓民国日本国大使館	http://www.kr.emb-japan.go.jp/



愛知淑徳大学留学生派遣規程

■趣 旨

第1条 この規程は、愛知淑徳大学の学部及び大学院の正規の課程に在籍する学生（以下「学生」という。）の海外留学生派遣に関して必要な事項を定めるものとする。

■留学の種別

第2条 この規程における「留学」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 交換留学 本学と交流協定を締結している大学への単位互換を伴う留学
- (2) 単位修得留学 単位修得を目的とした留学
- (3) 複数学位取得プログラム

海外の大学との学術交流協定に基づき、学生が本学に在籍したまま所定の要件を満たせば留学先の大学の学位も取得することが可能な留学

- (4) 長期海外履修制度による海外留学

長期海外履修制度による学部・研究科開設科目履修留学

■資 格

第3条 留学の出願ができる学生は、次に掲げる要件のいずれにも該当しなければならない。

- (1) 留学の目的及び計画が適切であること。
- (2) 留学に対する適性があること。

■出願手続

第4条 留学の出願をしようとする学生は、予め在籍する学部の学科、専攻主任若しくはコースの主任又は大学院研究科の専攻若しくはコースの主任（以下「学科主任等」という。）の承認を得たうえ、愛知淑徳大学国際交流委員会（以下「委員会」という。）を経由して、学長に出願書類を提出しなければならない。

2 第2条第4号による留学については学部・研究科の定めるところによる。

■認 定

第5条 委員会は、留学の出願があった学生について、出願書類及び留学生試験の結果に基づき審査を行い、留学生として認定すべき者について原案を作成する。

2 前項の委員会原案に基づき、関係する教授会又は大学院研究科委員会は、審議を行い、留学生としての認定を行う。

3 第2条第4号による留学については学部・研究科の定めるところによる。

■許 可

第6条 学長は、前条の規定により留学生として認定された者に対し留学を許可する。

■留学期間

第7条 留学期間は修業年限内とし、その通算期間が2年を超えることはできない。

2 第2条第1号による留学期間は、通算で1年以内とする。

3 第2条第2号による留学期間は、通算で1年以内とする。

4 第2条第3号による留学期間は、2年とする。ただし、留学期間の延長については、複数学位取得プログラム実施に関する細則の定めるところによる。

5 第2条第4号による留学期間は、通算で1年以内とする。

■学納金

第8条 第6条の規定による留学の許可を得た学生（以下「留学生」という。）は、留学期間中も授業料その他学納金を納入しなければならない。

■留学の中断・中途帰国

第9条 留学期間中に留学を中断して中途帰国することはできない。ただし、次の各号の一に該当するとき、学長は委員会及び関係する教授会又は大学院研究科委員会の議を経て、留学中断・中途帰国を認め、併せて帰国後の直近の期に開講される本学の授業科目の履修を認めることができる。

- (1) 留学生が留学先において傷病を発症し、現地の医師により留学の継続が著しく困難であると診断されたとき。
- (2) 国際紛争、テロ、災害及び人為的あるいは不慮・不可抗力による事故等の発生により留学先の治安が著しく悪化し、留学の継続に非常な危険を伴うとき。



2 学長は、留学生が留学先の大学の規則等に違反又はその本分に反する行為、もしくはその他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき、留学先の大学と協議の上、留学の中断、中途帰国を命ずることができる。

■海外留学帰国報告書

第 10 条 留学生は、留学を終えて帰国したときには直ちに海外留学帰国報告書を学科主任等を経て、委員会に提出しなければならない。

2 第 2 条第 4 号による留学については科目担当者に提出しなければならない。

■単位の認定

第 11 条 留学生が留学中に履修した授業科目の単位認定を受けようとするときには、留学修了後 1 か月以内に次の書類を長久手キャンパスにあつては教務事務室、星が丘キャンパスにあつては教学事務室に提出しなければならない

- (1) 単位認定申請書
- (2) 留学先大学の成績証明書 (official transcript)
- (3) 留学先大学の授業概要 (syllabus) のほか、単位認定判定に必要な資料

2 認定することのできる単位数は、学部においては 60 単位 (ただし、半期毎の最大単位数は、各学部の定める履修登録単位数の上限の範囲内とする)、大学院においては 10 単位を限度とする。この場合において、学部においては大学学則第 33 条第 4 項及び第 34 条第 3 項を、大学院学則においては第 29 条及び第 30 条第 2 項の規定を適用する。

3 第 2 条第 4 号による留学については学部・研究科の定めるところによる。

第 12 条 前条の単位認定は、関係する教授会又は大学院研究科委員会が行う。

2 第 2 条第 4 号による留学については科目担当者が行う。

■改正

第 13 条 この規程の改正は、委員会の発議に基づき大学協議会の議により行う。

■雑則

第 14 条 この規程に定めるもののほか、この規程の施行に関し必要な事項は、委員会が定めるものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成 8 年 8 月 1 日から施行する。
- 2 愛知淑徳大学留学生派遣規程 (昭和 63 年 4 月 1 日施行) は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

海外留学の手引き

Study Abroad Handbook

編集・発行 愛知淑徳大学 国際交流センター
発行日 2019年4月1日

星が丘キャンパス

〒464-8671 愛知県名古屋市千種区桜が丘 23
TEL 052-783-1590 (直通) FAX 052-783-1578

<http://www.aasa.ac.jp/institution/international/>

